



フーゴR1500 ミニ・1台用 基本・延長・連棟・合掌

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1-1、1-2、2-3等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- 積雪（新雪）50cm（1500N/m²）を超えない地域に設置してください。
- 建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- 一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行ってください。



基礎工事について

注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
- 基礎の大きさ、基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 施工取付けに関しては、メーカー標準の基礎寸法や、使用材料の規定が必ずしも現地に当てはまるものではありません。性能・機能を発揮するためには、現地の条件に応じた判断と施工が必要です。(堅牢な地盤、軟弱な地盤など現地判断が必要です。)
- 本書の基礎サイズは地耐力を100kN/m²として記載しております。地耐力が異なる場合は基礎サイズが変わるため、カタログ「カーポート建築基準法対応商品」をご参照下さい。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

施工上のご注意

注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に堅樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。堅樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)
 - ※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m (200±5kgf・cm)

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

施工上のご注意

お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

□ 施工の後に

⚠ 注意

●ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

💡 お願い

●取扱説明書は施主様にお渡しください。

□ 表示マーク



独立基礎で
施工の場合



土間コンクリートで
施工の場合



偏心基礎部材を使用して
施工する場合



柱位置を移動して
施工する場合



柱を内側位置に
移動して
施工する場合



「ミニ」を施工する場合



「1台用」を施工する場合



「縦連棟」を施工する場合



「L4延長」を施工する場合



M合掌を施工の場合



Y合掌を施工の場合



耐風圧で施工する場合



W24・25・30の場合



L22~L36の場合



L43~57の場合



シーリング箇所

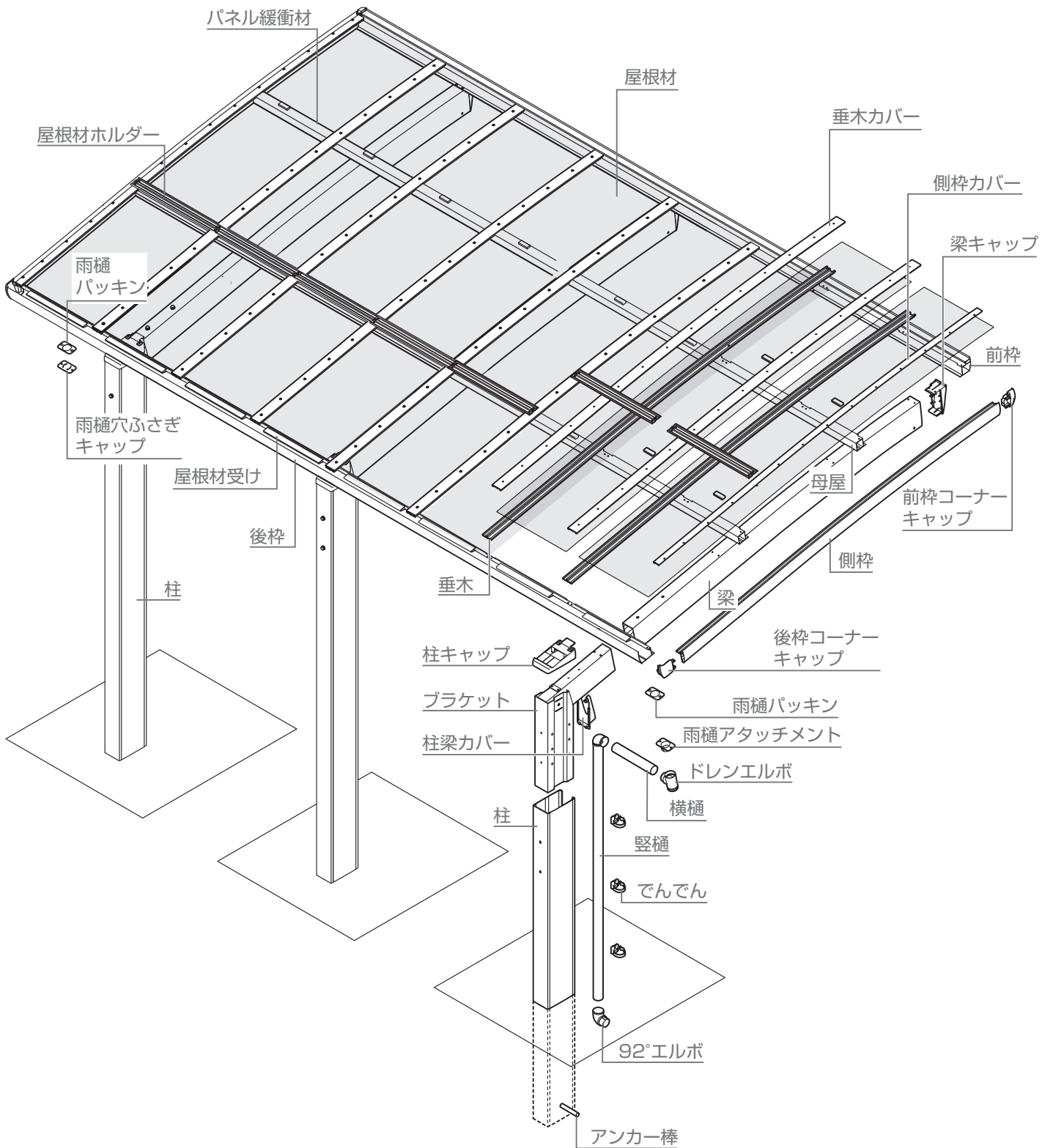


オプション製品

目次

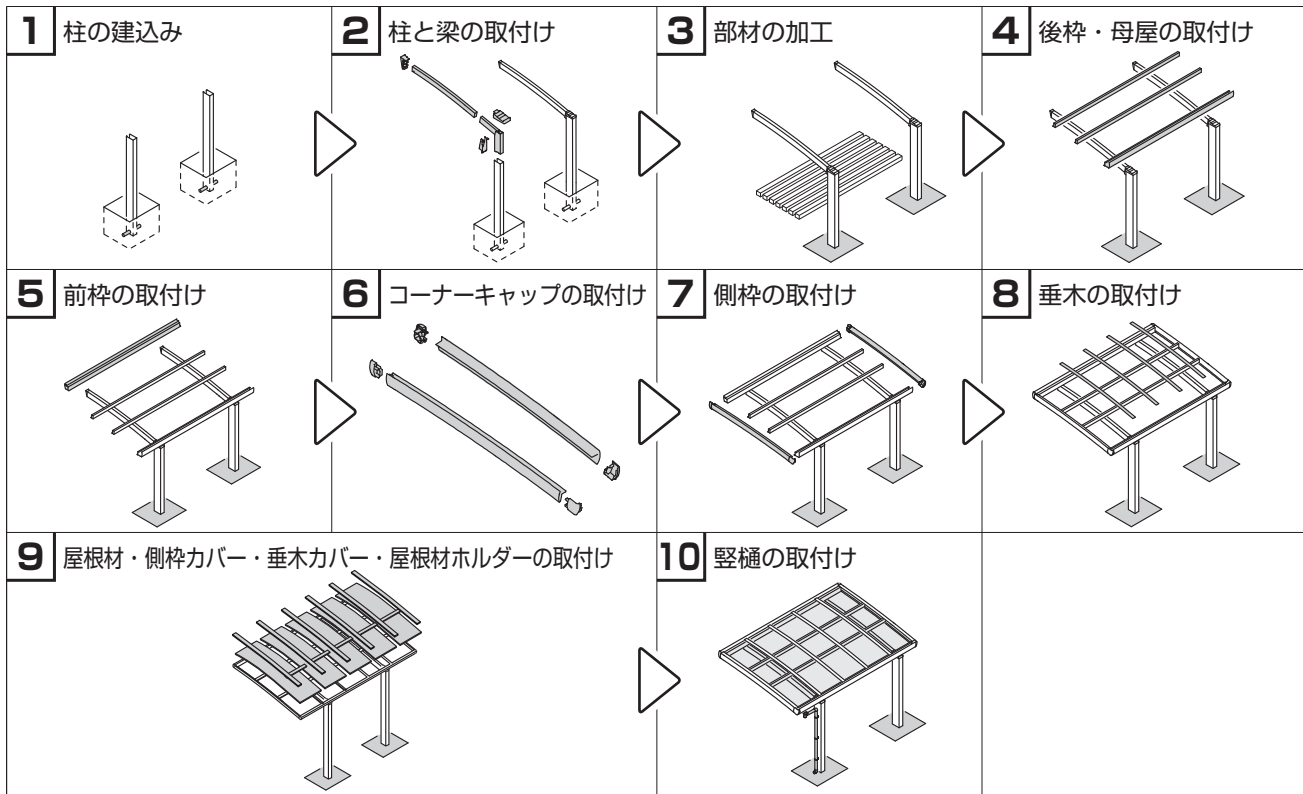
各部名称	4	2-2 確認事項	31
1 基本タイプの施工方法	5	2-3 部材の加工	34
1-1 施工の流れ	5	2-4 部材の取付け	36
1-2 確認事項	6	3 M合掌タイプの施工方法	39
1-3 基礎寸法の確認	8	3-1 施工の流れ	39
1-4 柱の建込み	9	3-2 確認事項	40
1-5 柱と梁の取付け	10	3-3 合掌部の取付け	41
1-6 部材の加工	13	3-4 合掌棟木の取付け	42
1-7 後枠・母屋の取付け	15	3-5 M合掌端部キャップの取付け	43
1-8 前枠の取付け	16	3-6 M・Y合掌連棟カバーの取付け	43
1-9 対角寸法の確認	17	4 Y合掌タイプの施工方法	44
1-10 コーナーキャップの取付け	18	4-1 施工の流れ	44
1-11 側枠の取付け	19	4-2 確認事項	45
1-12 垂木の取付け	20	4-3 合掌部の取付け	47
1-13 屋根材の取付け	21	4-4 合掌棟木の取付け	48
1-14 縦樋の取付け	29	4-5 Y合掌端部キャップの取付け	49
2 連棟タイプの施工方法	30	4-6 M・Y合掌連棟カバーの取付け	50
2-1 施工の流れ	30	梱包明細表	51

各部名称



1 基本タイプの施工方法

1-1 施工の流れ



1 基本タイプの施工方法

1-2 確認事項



▼ ミニの場合 ▼



▼ 1台用の場合 ▼

1-2-1 姿図

注意



▼ 柱位置を移動して
施工の場合 ▼

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

補足

- 印は【柱移動】範囲を示します。



▼ ロング柱の場合 ▼

- W18 ~ W21:H寸法(※)に+600してください。
- W24 ~ W30:H寸法(※)に+300してください。



▼ H28柱の場合 ▼

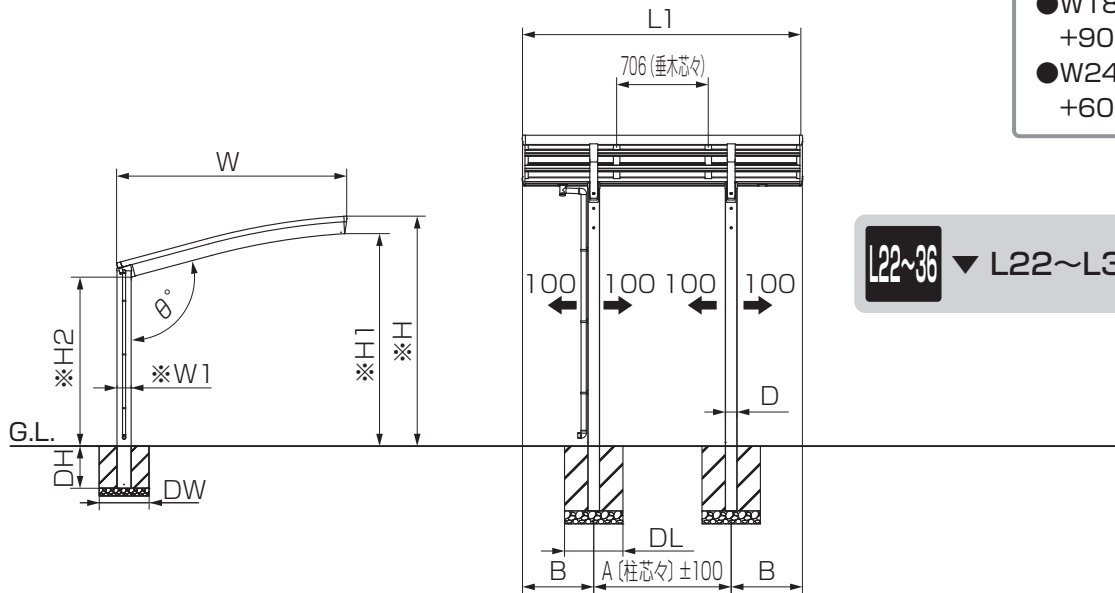
- W18 ~ W21:H寸法(※)に+900してください。
- W24 ~ W30:H寸法(※)に+600してください。



▼ 縦連棟の場合 ▼ ▼ M合掌の場合 ▼
▼ 14延長の場合 ▼ ▼ Y合掌の場合 ▼

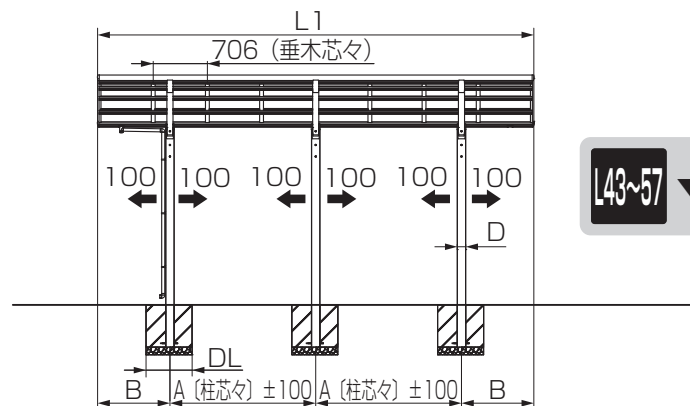


ページ参照 P.32、P.33、P.40またはP.45も事前に確認してください。



L22~36

▼ L22~L36の場合 ▼



L43~57

▼ L43~L57の場合 ▼

間口	W	W1	※H	※H1	※H2	θ°	
ミニ	W18	1793	160	2394	2189	1895	102°
	W21	2095	160	2437	2231	1895	102°
1台用	W24	2400	185	2783	2556	2194	102°
	W25	2550	185	2815	2588	2194	102°
	W27	2700	185	2847	2619	2194	102°
	W30	2999	185	2997	2769	2201	105°

奥行	L1	A	B	D	
ミニ	L22	2156	1059	548.5	90
	L29	2862	1412	725	90
	L36	3568	1765	901.5	90
	L43	4274	1412	725	90
ミニ/1台用	L50	4980	1700	790	90/110
	L57	5686	1900	943	90/110

1 基本タイプの施工方法

1-2 確認事項



▼ ミニの場合 ▼



▼ 1台用の場合 ▼

1-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る



▼ 基礎寸法数値について ▼

基礎寸法「DW」「DL」は『P.8』を参照してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【カーポートライト】

「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」

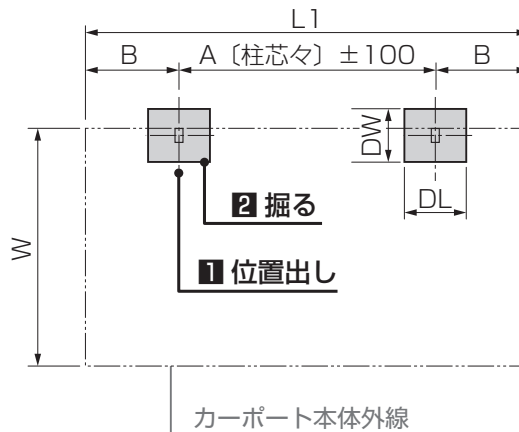
「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」

【コンセントフレーム】

「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」

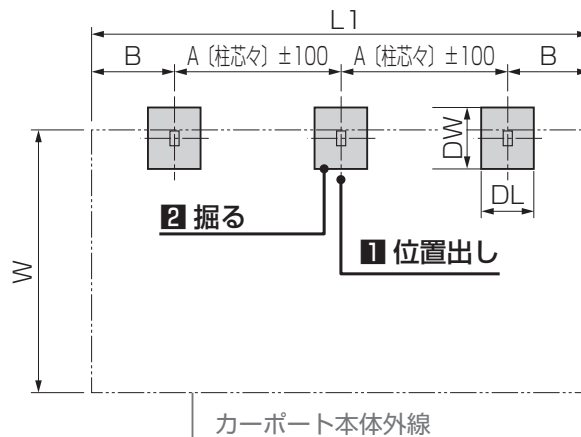
122~36

▼ L22~L36の場合 ▼



143~57

▼ L43~L57の場合 ▼



1 基本タイプの施工方法

1-3 基礎寸法の確認



▼縦連棟の場合▼ ▼14延長の場合▼ ▼M合掌の場合▼

【縦連棟】、【14延長】、【M合掌】も本ページの基礎寸法を参照してください。

1-3-1 基礎寸法表

1: 基礎穴寸法を確認する

<地耐力 100kN/㎡の場合>

タイプ	サイズ		独立基礎寸法			土間併用基礎		
	W	L	DW	DL	DH	DW	DL	DH
ミニ	18	22・29	500	450	500	500	450	500
	18	36・43・50・57	500	500	500	500	450	500
	21	22・29	500	450	500	500	450	500
	21	36・43・50・57	550	550	500	500	450	500
1台用	24	50・57	600	500	550	600	500	550
	25	50・57	600	500	550	600	500	550
	27	50・57	600	550	550	600	500	550
	30	50・57	600	650	550	600	500	550

補足

- ミニ凍上柱の場合、独立基礎寸法を「DW: 400、DL: 300、DH: 1000」で施工してください。
- 1台用凍上柱の場合、独立基礎寸法を「DW: 400、DL: 350、DH: 1000」で施工してください。
- 凍上柱の場合、土間併用基礎の対応はできません。



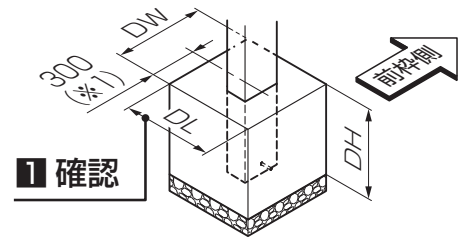
独立基礎
仕上げの場合

独立基礎

1: 基礎穴寸法を確認する

補足

- (※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。



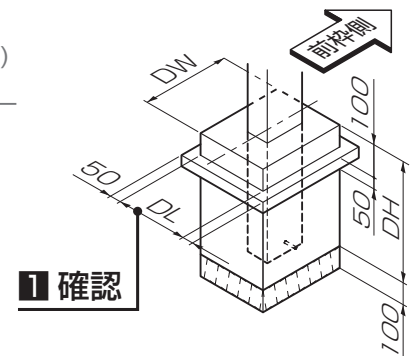
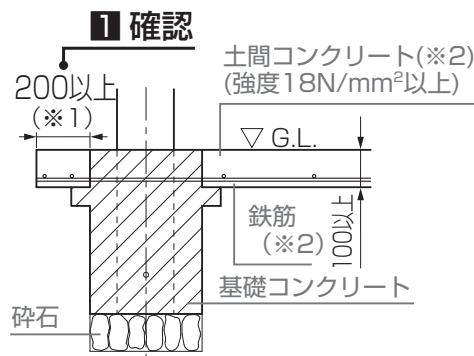
土間コンクリート
仕上げの場合

土間併用基礎

1: 基礎穴寸法を確認する

お願い

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)



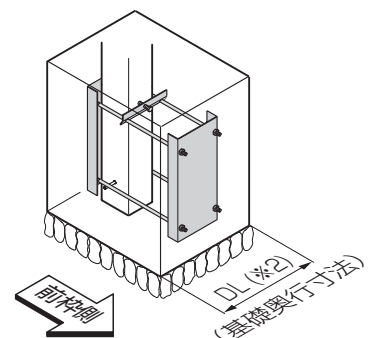
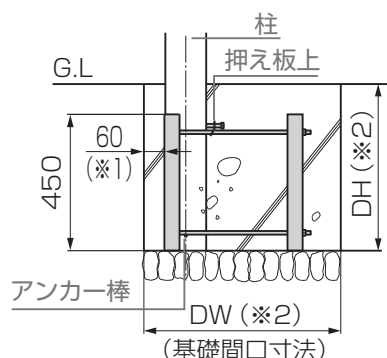
偏芯基礎部材を
取付ける場合

偏芯基礎

1: 基礎穴寸法と偏芯基礎寸法を確認する

補足

- (※1)はタテ材Aの外面向かた基礎端面の寸法です。
- (※2)は独立基礎と同じ寸法になります。



1 確認

1 基本タイプの施工方法

1-4 柱の建込み

1-4-1 柱の建込みの準備

1: 柱にアンカー棒を取付け

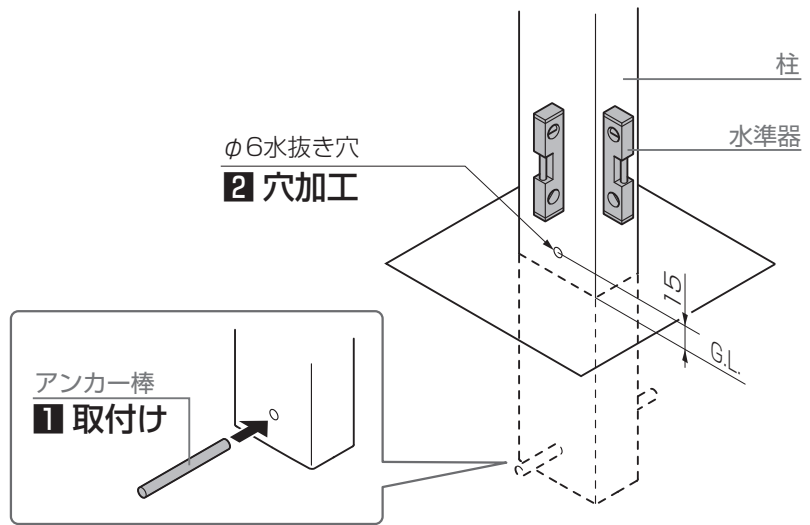
2: 柱にφ6の水抜き穴加工

注意

- 水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

お願い

- 柱の垂直を確認してください。

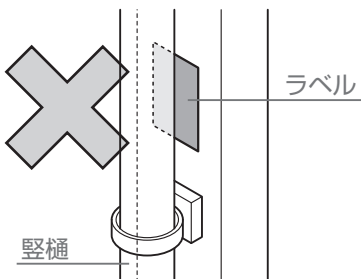


1-4-2 柱の建込み

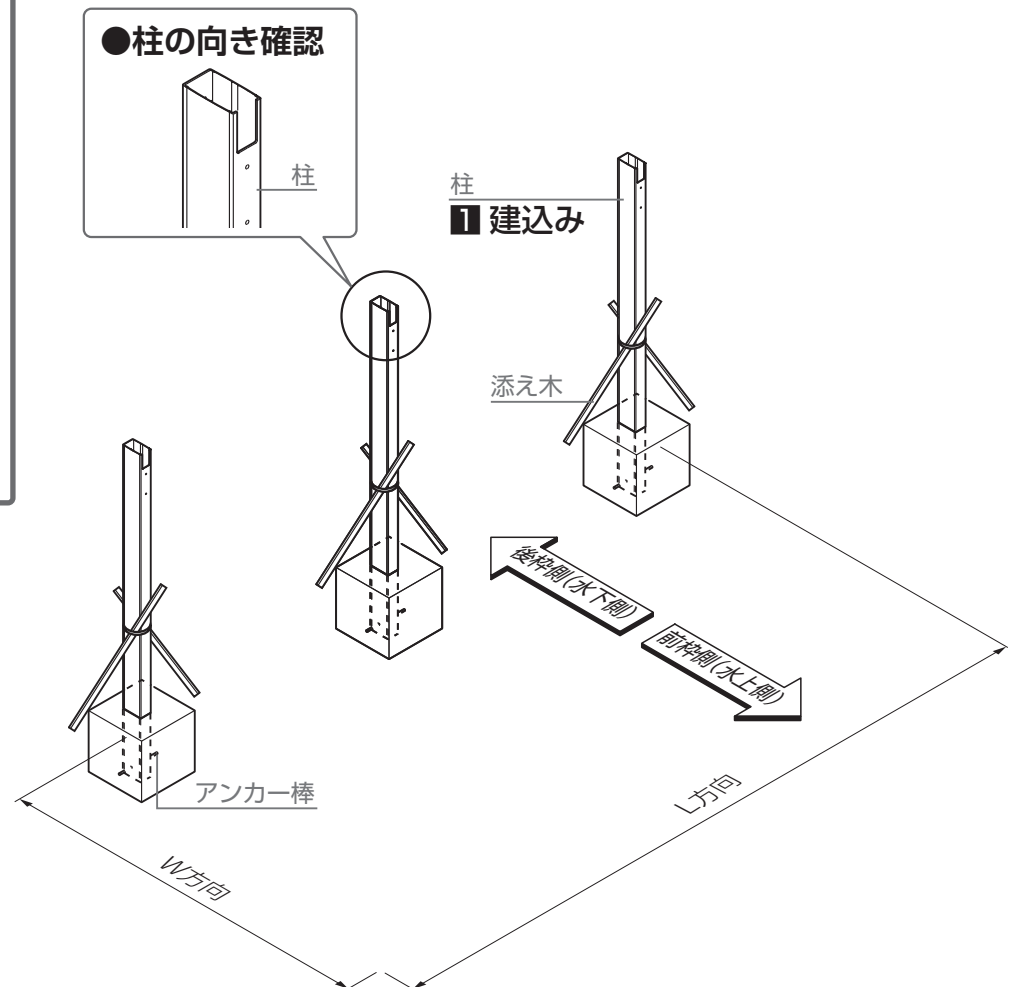
1: 柱を建込み

注意

- 柱を建てこむ際は「使用上の注意」ラベルが、堅樋でかかれないように柱を建込んでください。



- 基本寸法を確認して柱の対角寸法、ピッチ、垂直を確認してください。



1 基本タイプの施工方法

1-5 柱と梁の取付け

1-5-1 柱と梁の取付け



▼ Y合掌の場合 ▼



『P.47』も事前に確認してください。

お願い

- 緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)

1: ブラケットを柱に差込み

2: ブラケットを柱に【7-1】で取付け

3: 梁をブラケットに差込み

4: 梁をブラケットに【7-1】で取付け

お願い

- 緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)

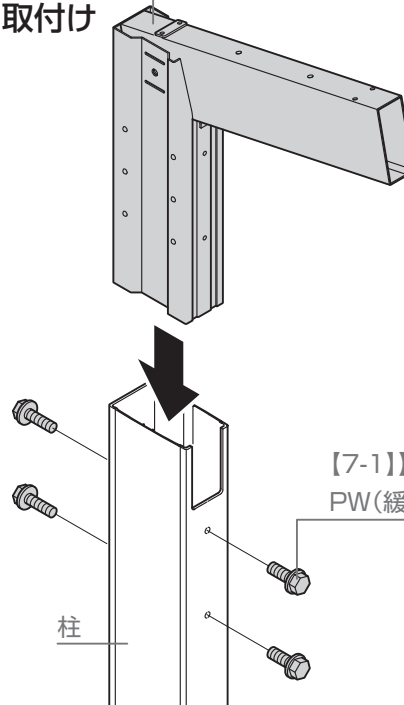


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【物干しセット】
「物干しセット 取付説明書 (D610)」

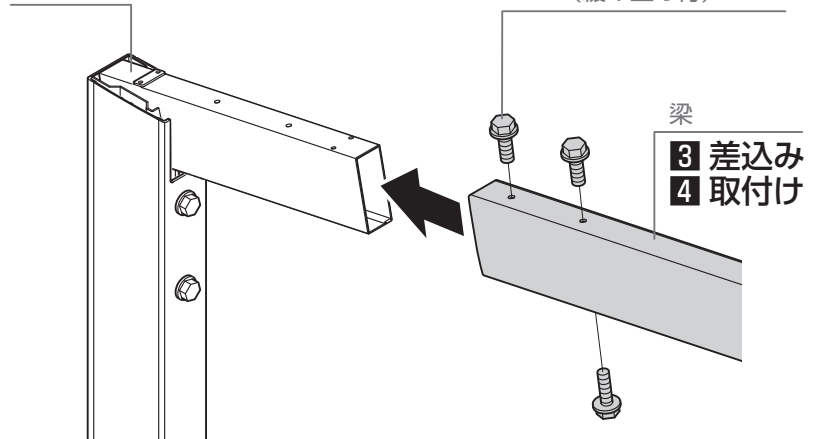
ブラケット

1 差込み
2 取付け



ブラケット

【7-1】M8×20六角ボルト
PW(緩み止め付)

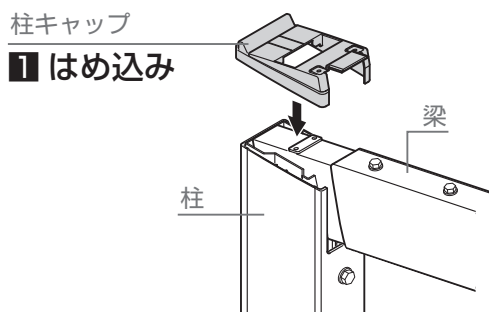


1 基本タイプの施工方法

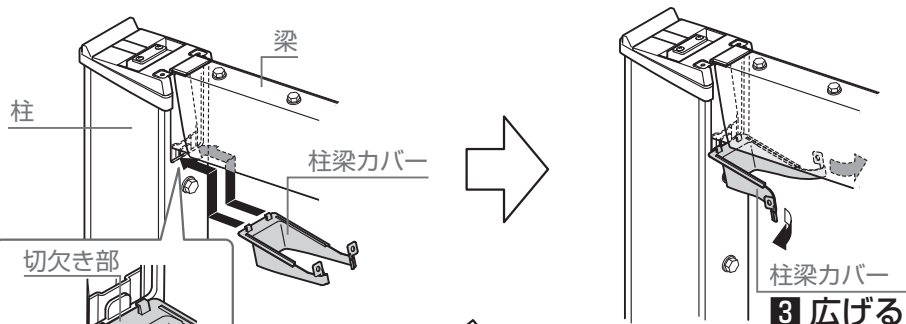
1-5 柱と梁の取付け

1-5-2 柱キャップの取付け

1: 柱キャップを柱にはめ込み



2: 柱梁カバーのツメを柱の切欠き部に引っ掛ける



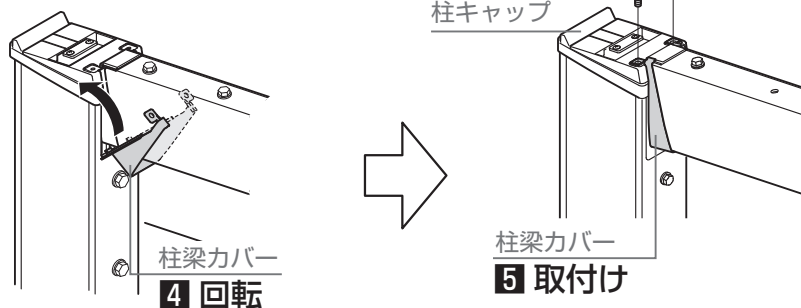
3: 柱梁カバーを広げる

4: 柱梁カバーを回転させる

5: 柱梁カバーを柱キャップに【7-2】で取付け



【7-2】φ5×12
トラスタッピン
ネジ3種



補足

- 柱キャップと柱梁カバーを寄せ合いながら取付けてください。
- この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタツキます。

1 基本タイプの施工方法

1-5 柱と梁の取付け

1-5-3 梁キャップの取付け

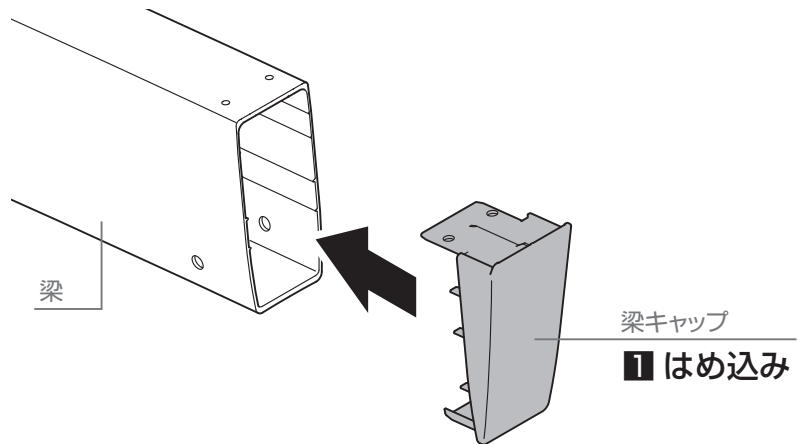


▼ M合掌の場合 ▼



『P.41』も事前に確認してください。

1: 梁に梁キャップをはめ込み



2: 隙間にシーリングを塗布

お願い

- シーリングは梁キャップ上面を除いた部分に塗布してください。

梁キャップ上面

シーリング

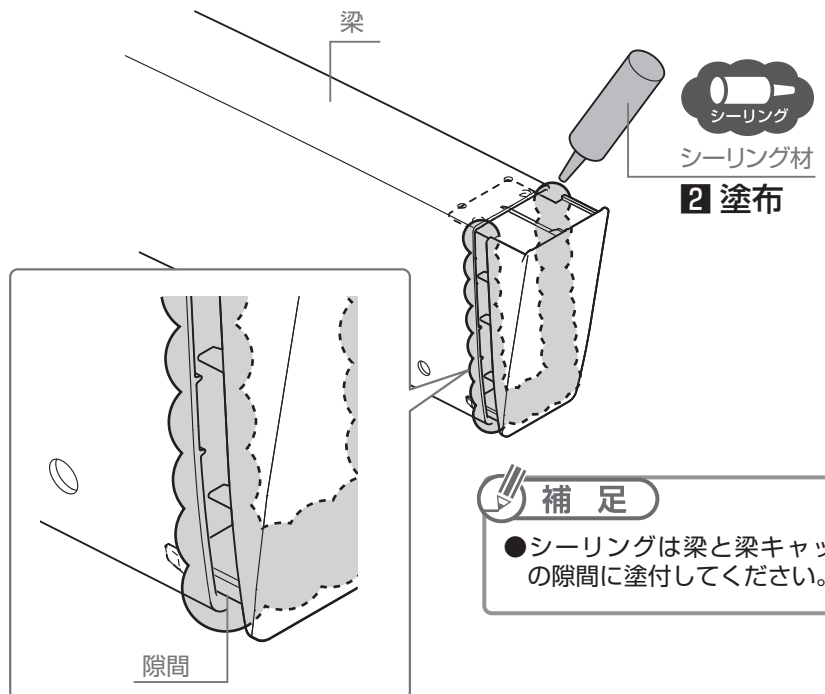
シーリング材

3: 梁キャップを梁に完全にはめ込む

4: 上面の段差にシーリングを塗布

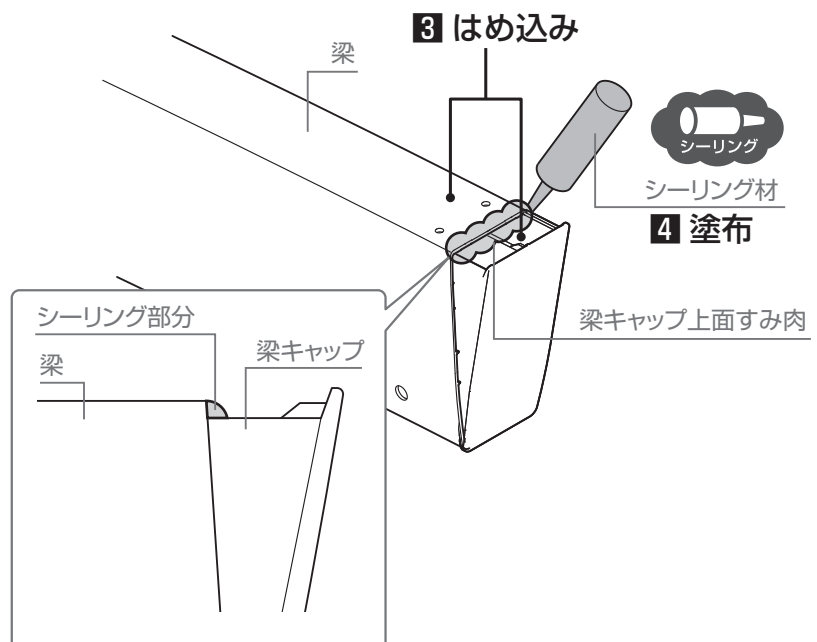
補足

- この段階で梁キャップのネジ止めは行ないません。



補足

- シーリングは梁と梁キャップの隙間に塗付してください。



1 基本タイプの施工方法

1-6 部材の加工

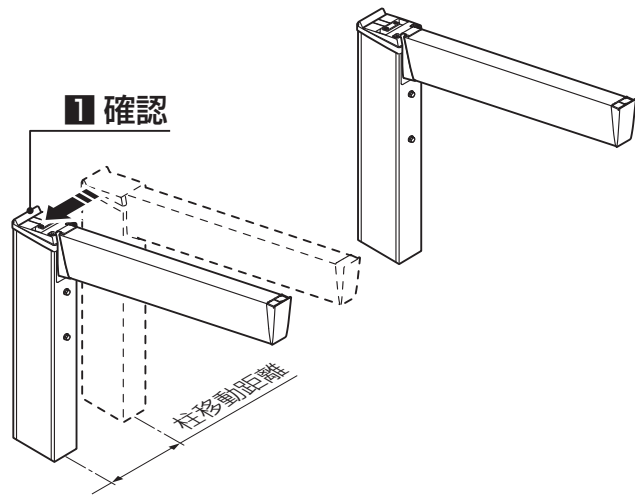


柱位置を移動して
施工の場合

1: 柱移動距離を確認

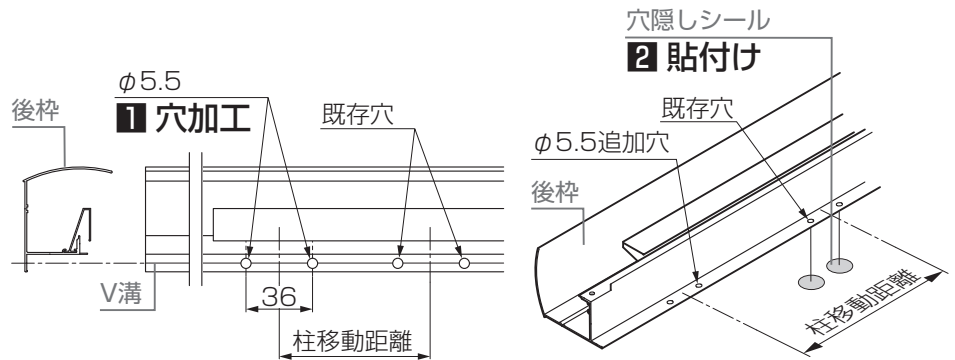
お願い

- 柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。



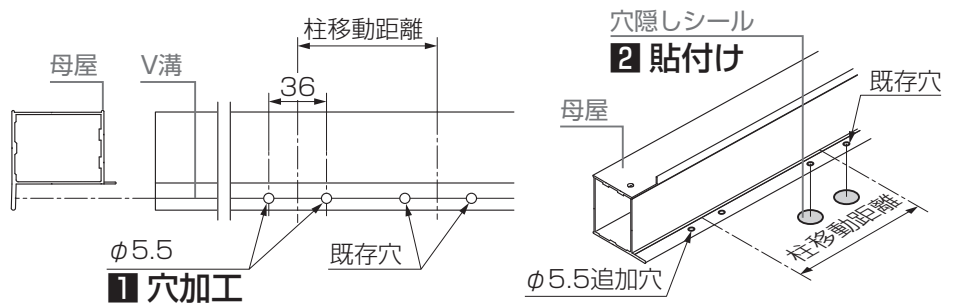
1-6-1 後枠の加工

- 1: 後枠にφ5.5の穴加工
- 2: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



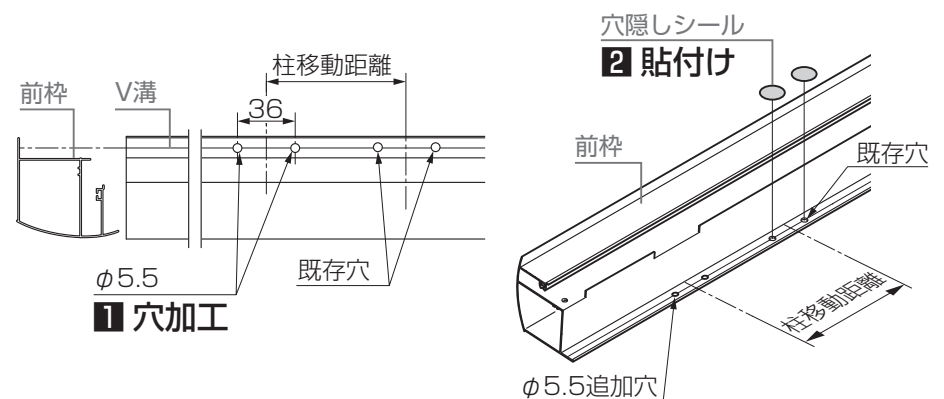
1-6-2 母屋の加工

- 1: 母屋にφ5.5の穴加工
- 2: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



1-6-3 前枠の加工

- 1: 前枠にφ5.5の穴加工
- 2: 既存穴に穴隠しシールを貼付け



1-6 部材の加工



OP
初選

耐風圧で
施工の場合

補足

- 追加補強ネジ用の穴加工を行いません。
- ミニには耐風圧オプションはありません。

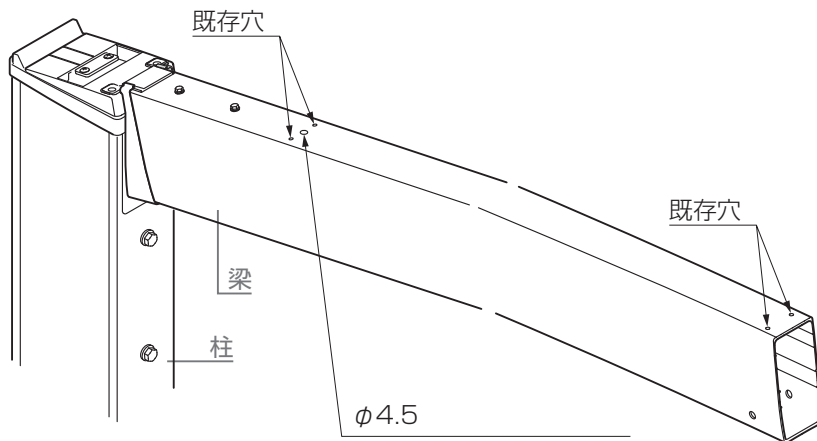
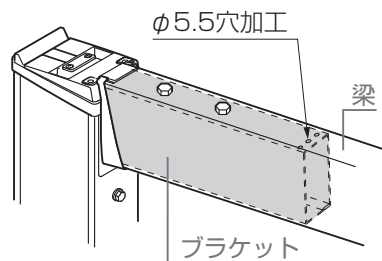
1: 梁にφ4.5の穴加工

お願い

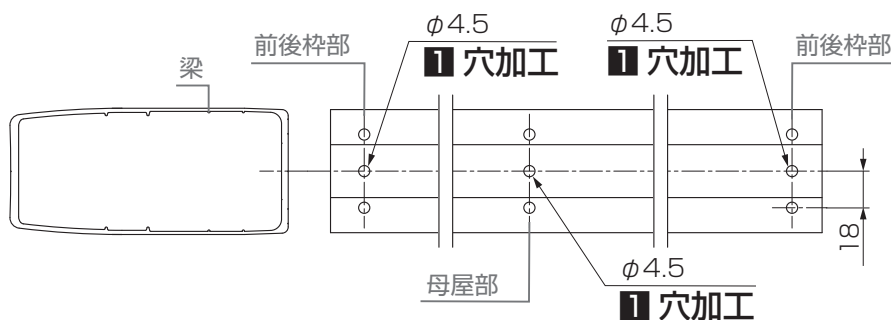
W24
W25
W30

▼ W24・25・30の場合 ▼

- ブラケットにもφ5.5の逃げ穴をあけてください。



1 穴加工 (母屋用)



2: 母屋にφ5.5の穴加工

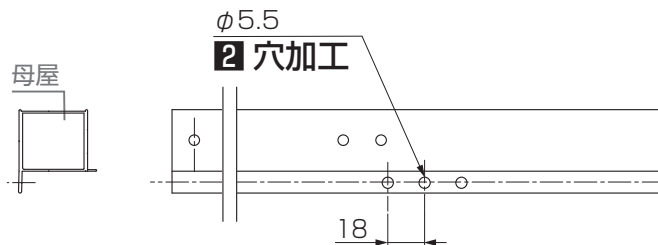
お願い

- すべての母屋に穴加工してください。

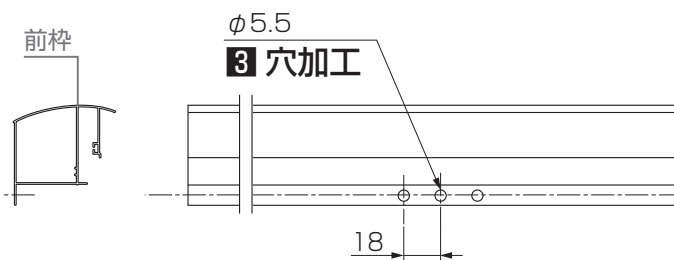


▼ 柱位置を移動して
施工の場合 ▼

- 移動した側のみ穴加工をしてください。



3: 前枠にφ5.5の穴加工



1 基本タイプの施工方法

1-7 後枠・母屋の取付け

1: パネル緩衝材を母屋に貼付け

お願い

- パネル緩衝材は下図の位置に貼付けてください。

パネル緩衝材

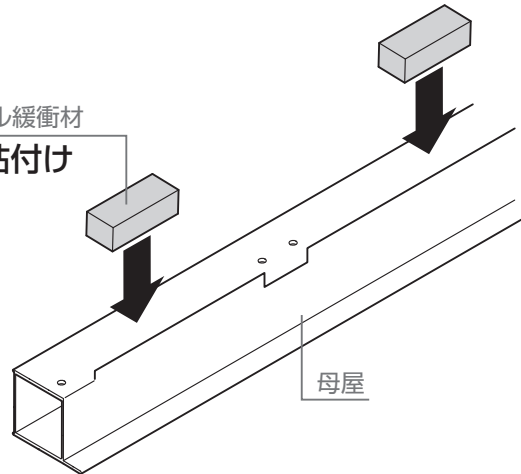
穴と穴の間 穴と穴の間

母屋の中心

(343)

パネル緩衝材

1 貼付け



2: 後枠を柱キャップに【7-2】で取付け

お願い

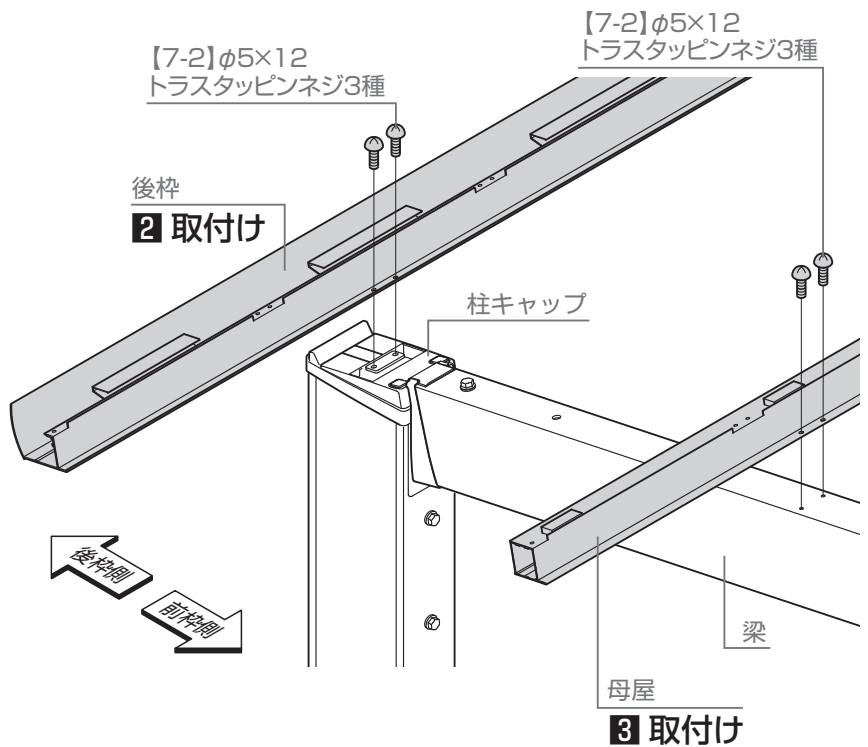
- 屋根材受けを下図の位置に移動させてください。

中心

切欠き間

【7-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

後枠
2 取付け



3: 母屋を梁に【7-2】で取付け

お願い

- 母屋のフィン、前枠側に向けてください。

【7-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

母屋

フィン部

梁

後枠側

前枠側

母屋
3 取付け

補足



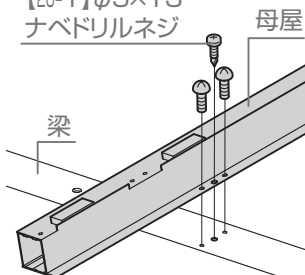
耐風圧

OP
オプション

耐風圧で
施工の場合

- 母屋と梁に【20-1】で追加固定をしてください。

【20-1】φ5×13
ナベドリルネジ



1 基本タイプの施工方法

1-8 前枠の取付け

1: 前枠を梁に【7-2】で取付け

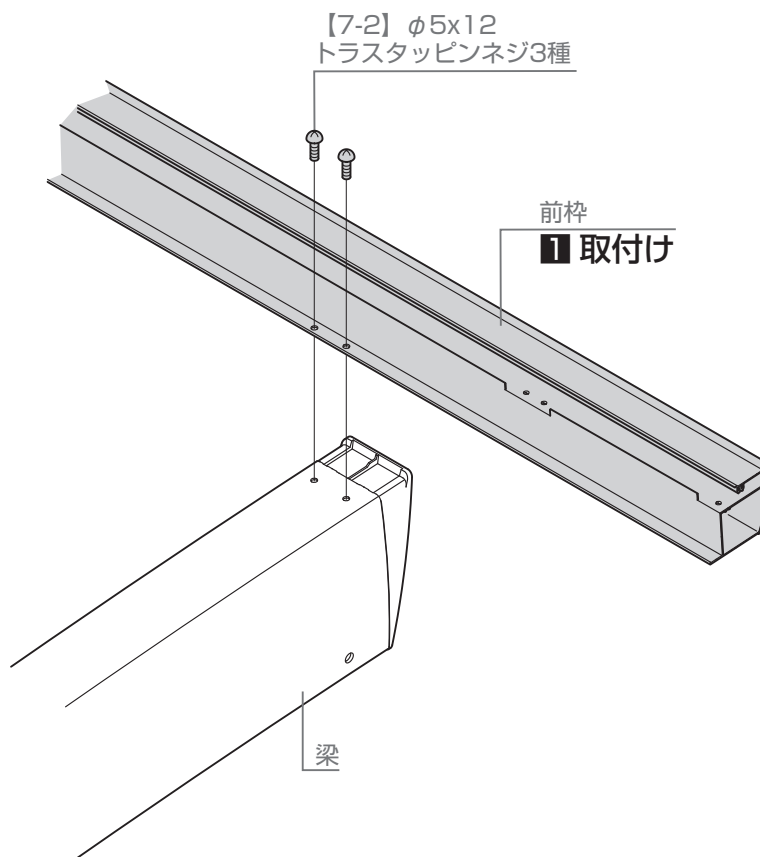
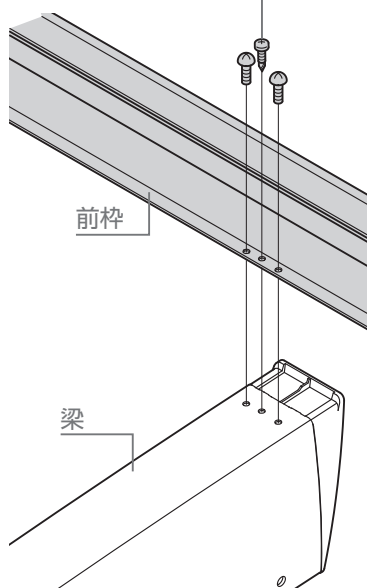
補足



耐風圧で
施工の場合

●前枠と梁に【20-1】または【22-1】で追加固定をしてください。

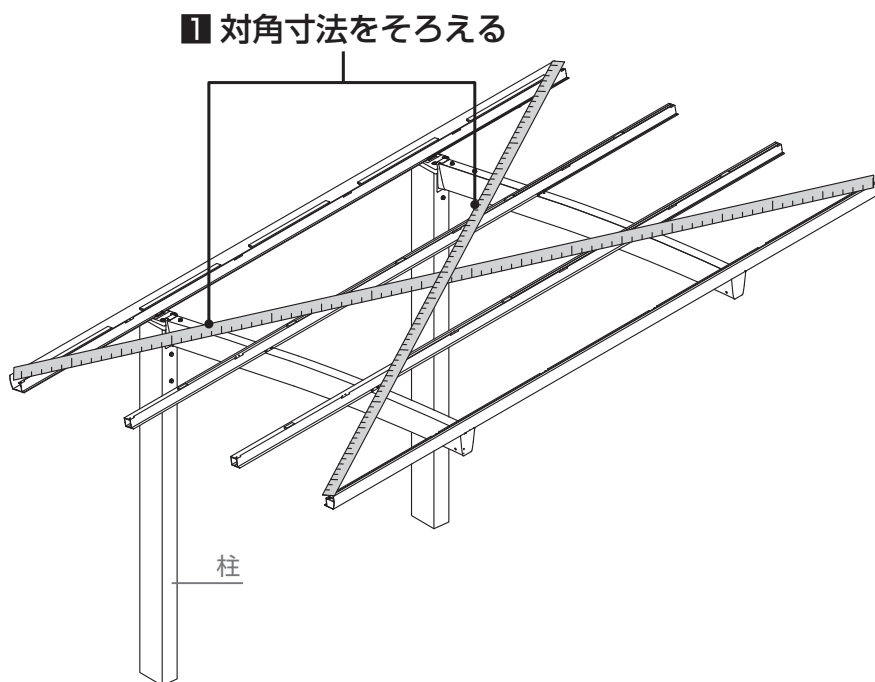
【20-1】φ5x13ナベドリルネジ
または
【22-1】φ5x13ナベドリルネジ



1 基本タイプの施工方法

1-9 対角寸法の確認

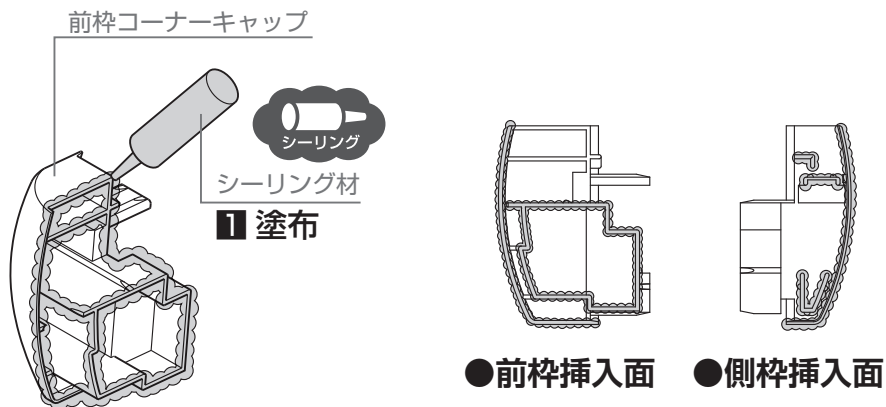
1: 屋根枠まわりの対角寸法をそろえる



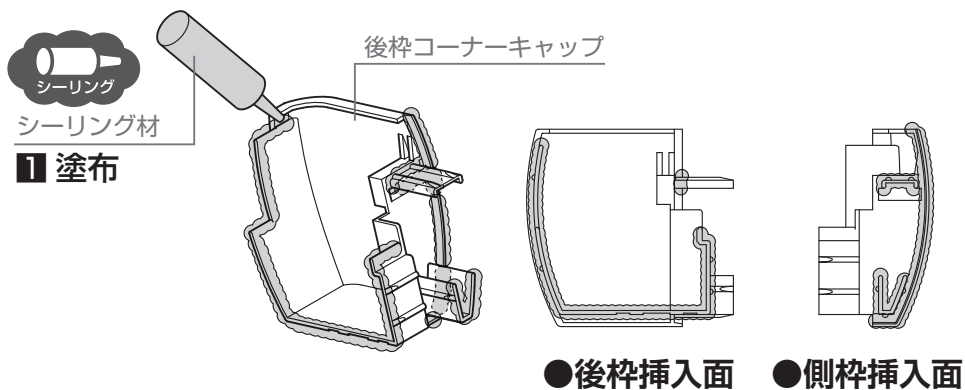
1 基本タイプの施工方法

1-10 コーナーキャップの取付け

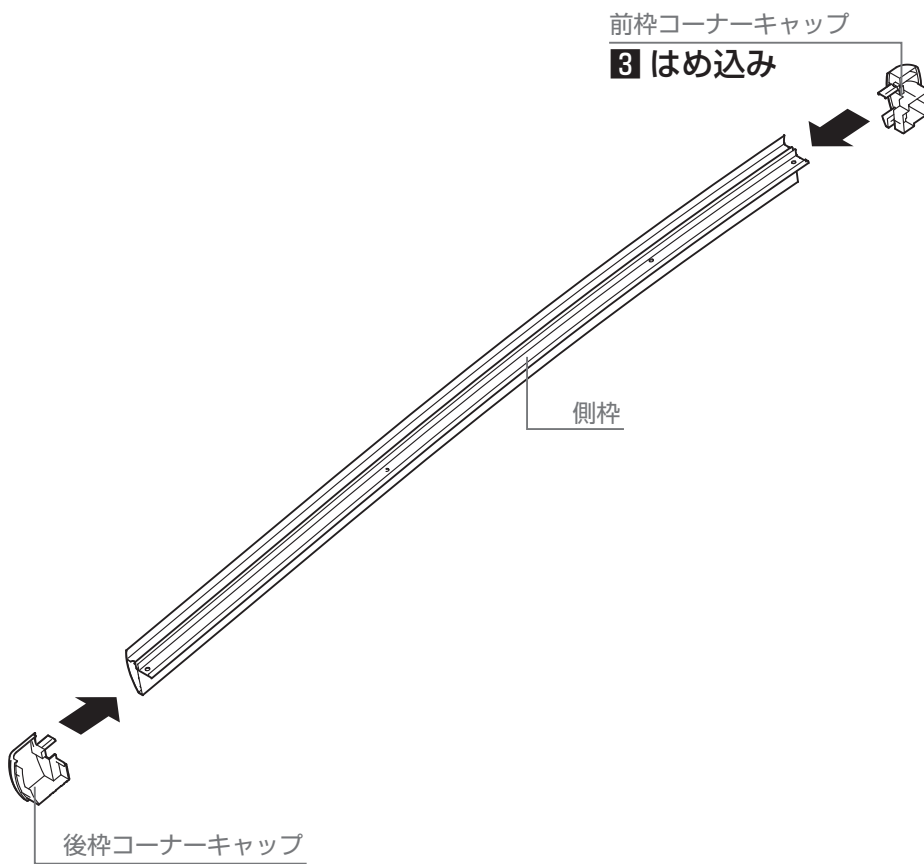
- 1: 前枠コーナーキャップにシーリングを塗布



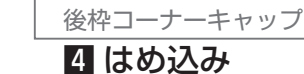
- 2: 後枠コーナーキャップにシーリングを塗布



- 3: 前枠コーナーキャップを側枠にはめ込み

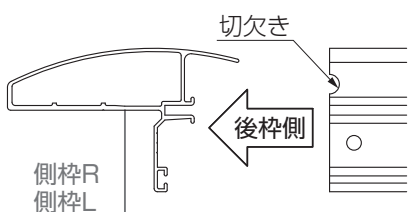


- 4: 後枠コーナーキャップを側枠にはめ込み



お願い

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。



1 基本タイプの施工方法

1-11 側枠の取付け

1: 前枠コーナーキャップを前枠にはめ込む

2: 側枠を前枠に【7-2】で取付け

お願い

●ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



ネジの浮き



ネジの
浮き・傾きなし



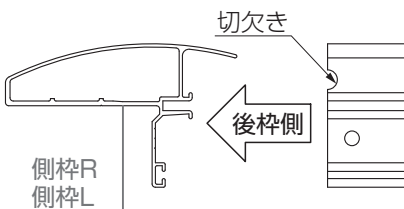
ネジの傾き

3: 後枠コーナーキャップを後枠にはめ込む

4: 側枠を後枠に【7-2】で取付け

お願い

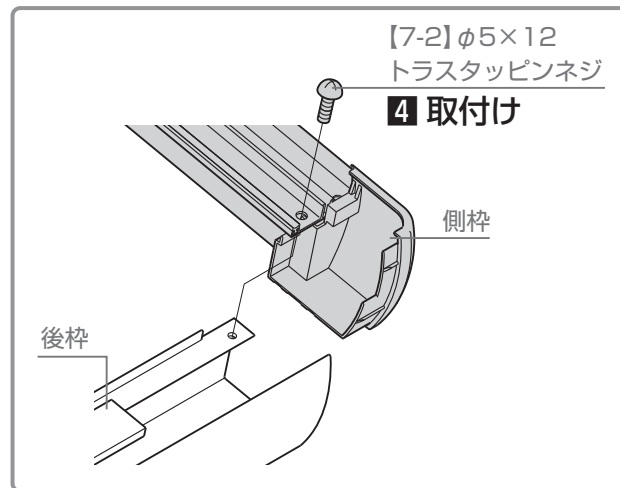
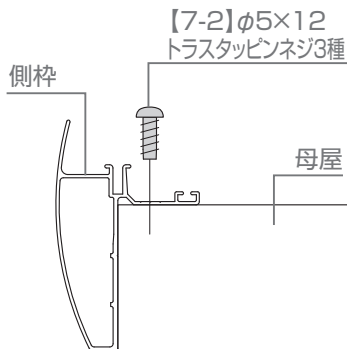
●側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。



5: 側枠を母屋に【7-2】で取付け

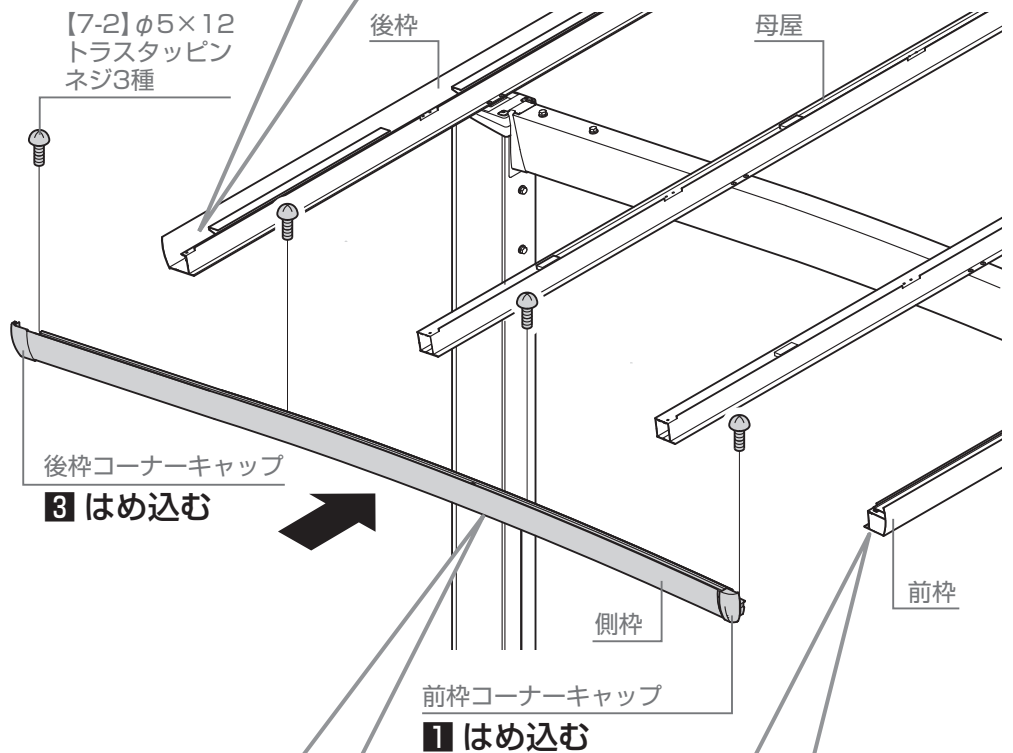
補足

●母屋は側枠の下に設置して取付けてください。



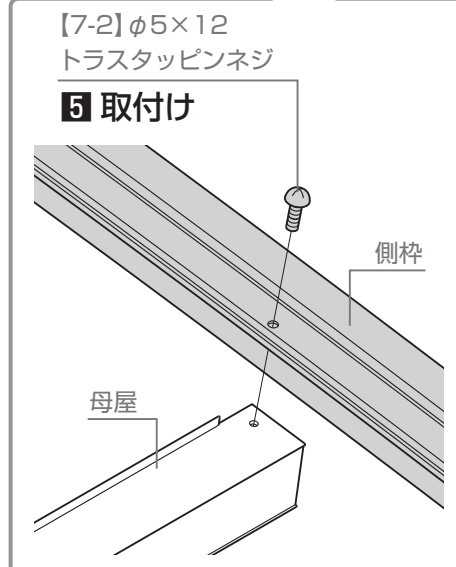
[7-2]φ5×12
トラストッピンネジ

4 取付け



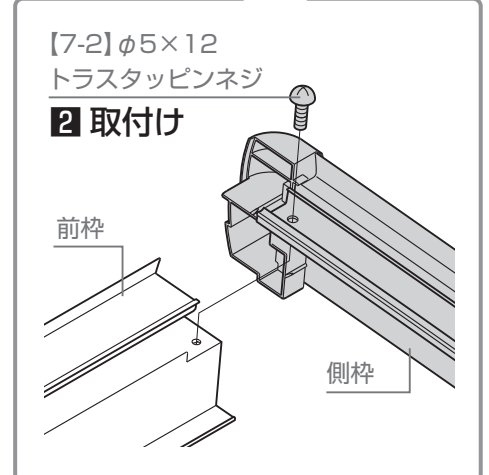
3 はめ込む

1 はめ込む



[7-2]φ5×12
トラストッピンネジ

5 取付け



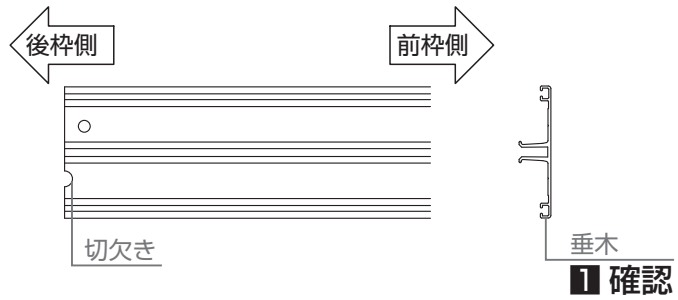
[7-2]φ5×12
トラストッピンネジ

2 取付け

1 基本タイプの施工方法

1-12 垂木の取付け

1: 垂木の前後を確認



2: 垂木を前柵・後柵・母屋に【7-2】で取付け

お願い

●ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。

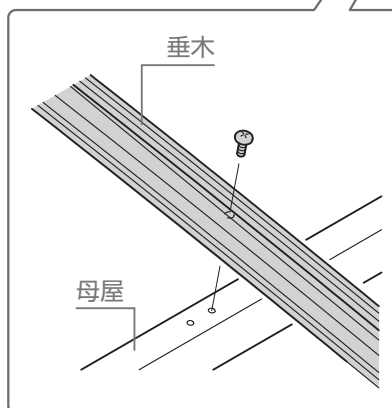
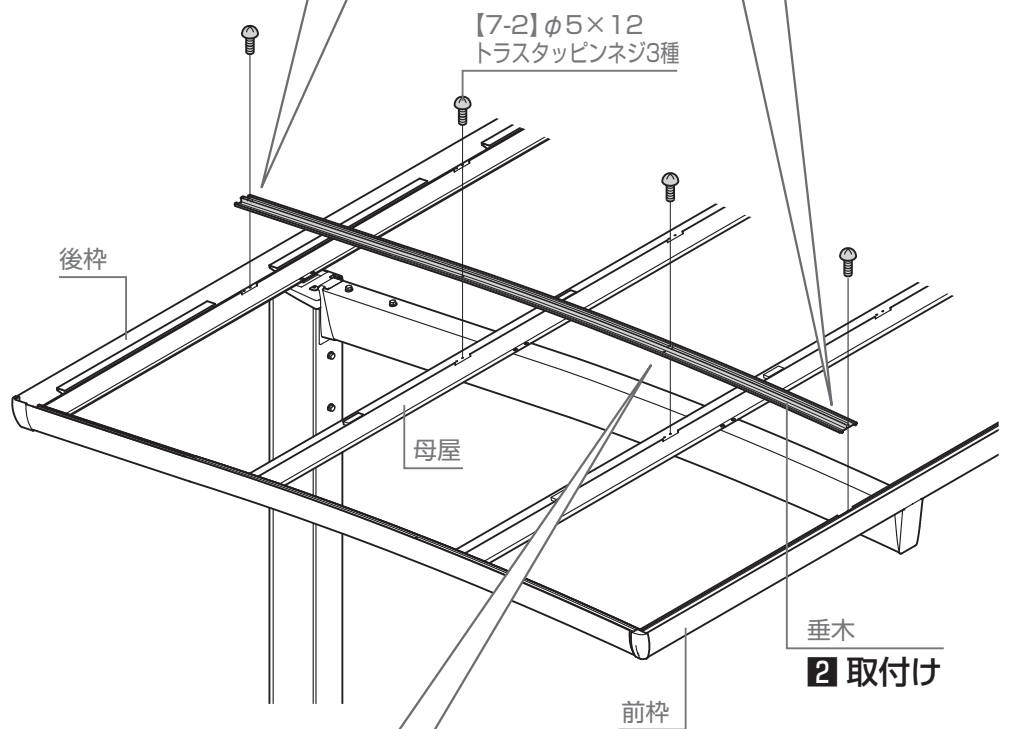
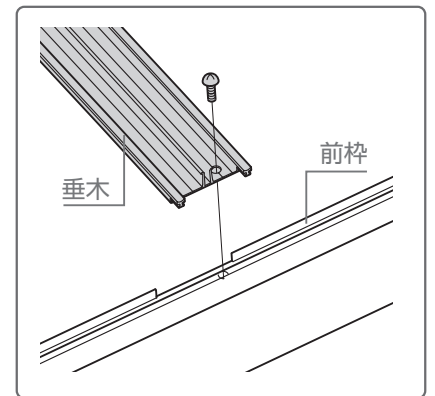
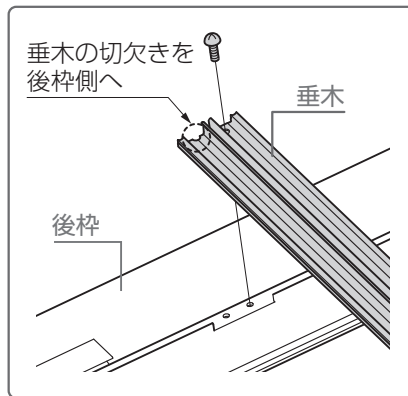


ネジの浮き



ネジの
浮き・傾きなし

ネジの傾き



1 基本タイプの施工方法

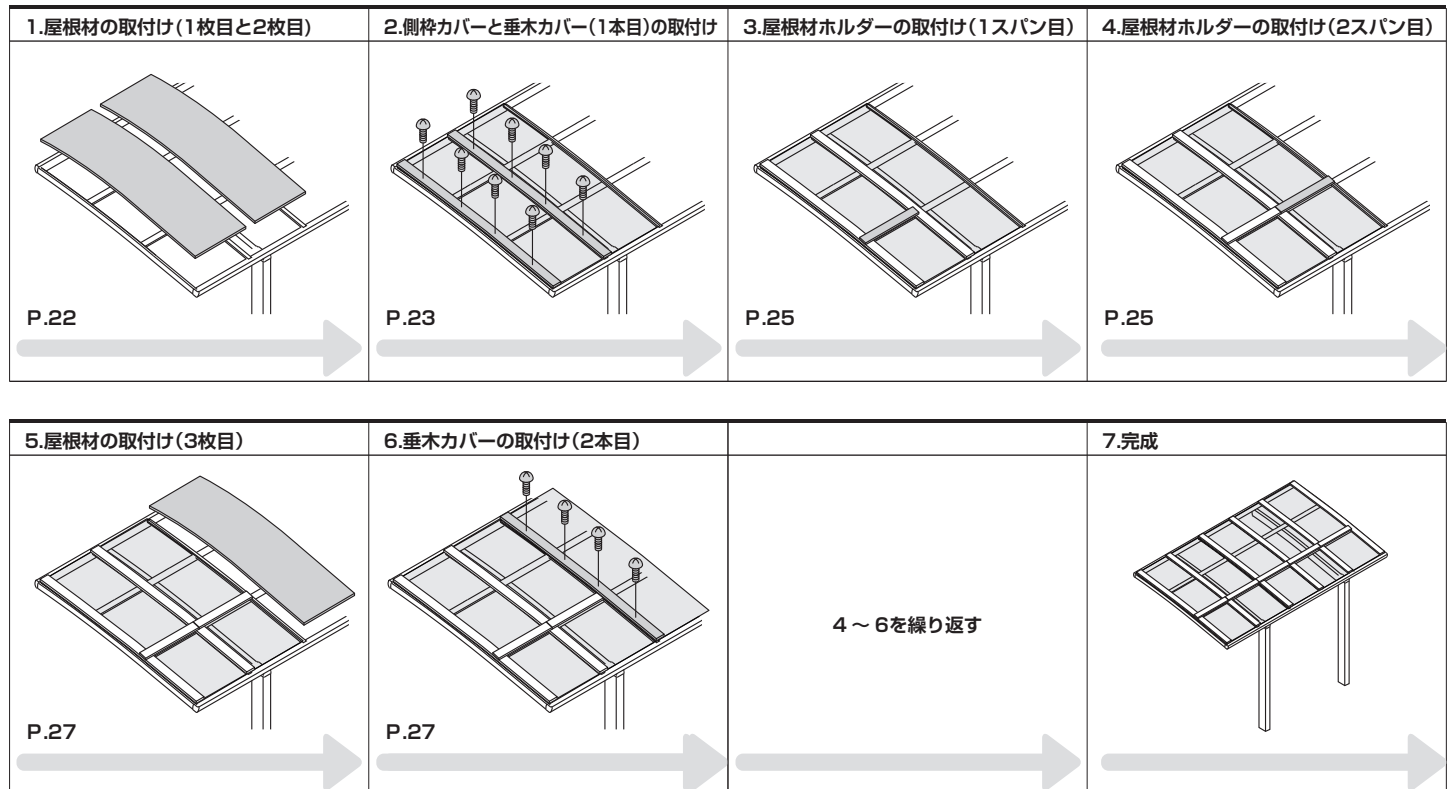
1-13 屋根材の取付け

1-13-1 屋根材の取付け順番の確認

お願い

- 屋根材1枚セットする度に、垂木カバーと屋根材ホルダーのかみ合わせ部を施工してください。
- 屋根材は必ず手順に従って施工してください。

P.25 事前に屋根材ホルダーの取付け位置を確認してください。屋根材ホルダーの取付け位置については、P.25を参照してください。



1 基本タイプの施工方法

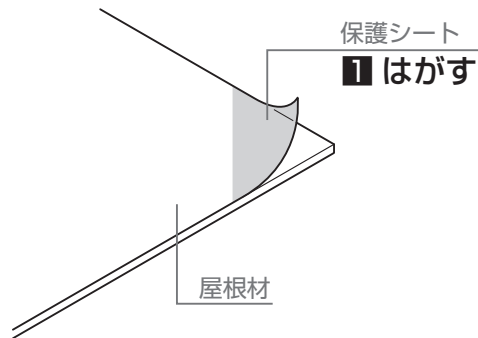
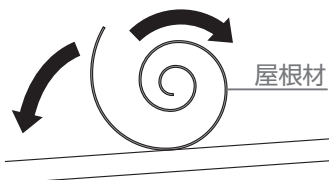
1-13 屋根材の取付け

1-13-2 屋根材の取付け(1枚目と2枚目)

1: 屋根材の保護シートをはがす

お願い

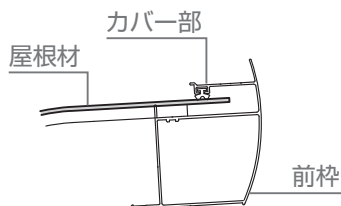
- 屋根材は表裏を確認し、取付けてください。
- 屋根材は屋根部の上で下記のように広げてください。



2: 屋根材を前枠に差込む

お願い

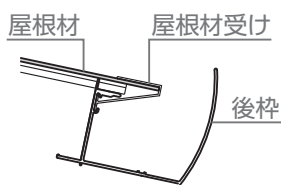
- 前枠のカバー部に屋根材を差込んでください。



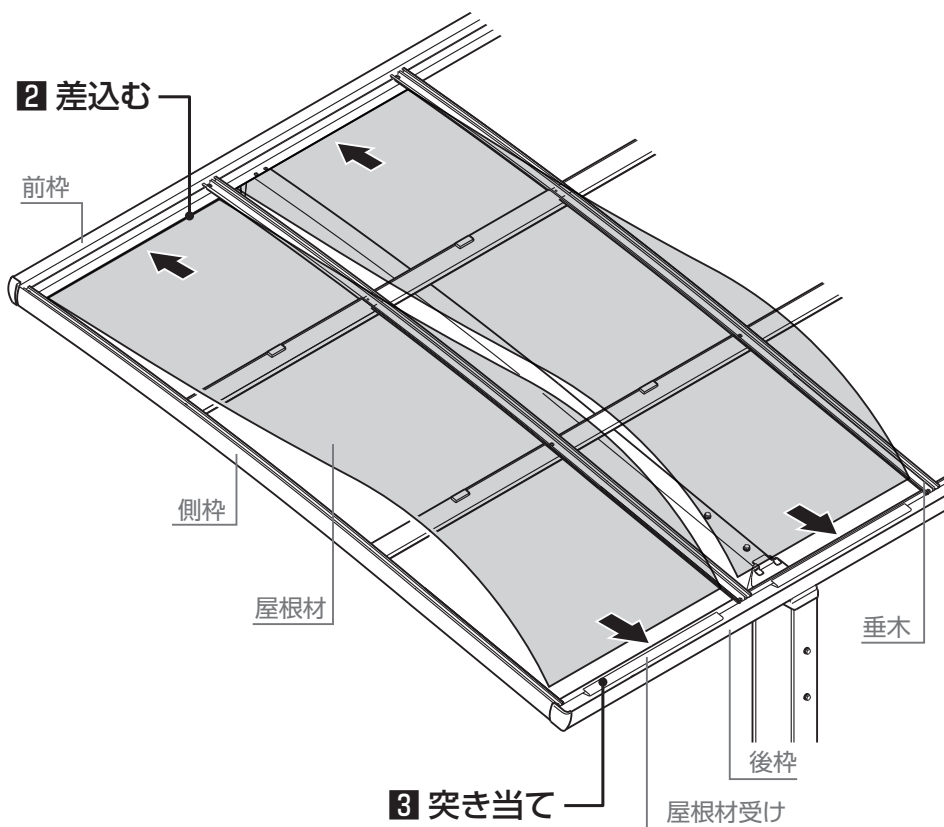
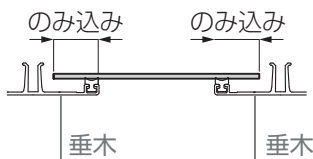
3: 屋根材を後枠の屋根材受けに突き当てて

お願い

- 屋根材は屋根材受けに突き当ててください。



- 垂木部へののみ込み寸法は、左右均等にしてください。



1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

1-13-3 側枠カバーと垂木カバー（1本目）の取付け

1: 側枠カバーを側枠に【7-2】で取付け

2: 垂木カバーを垂木に【7-2】で取付け

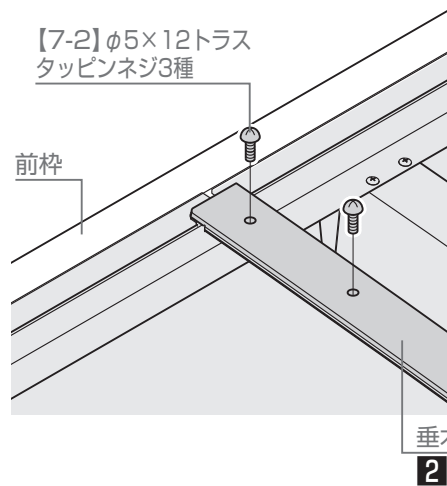
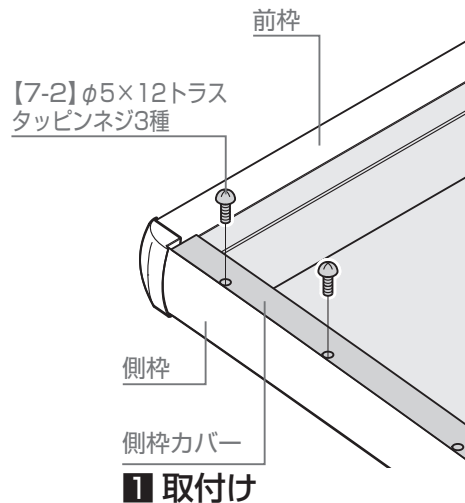
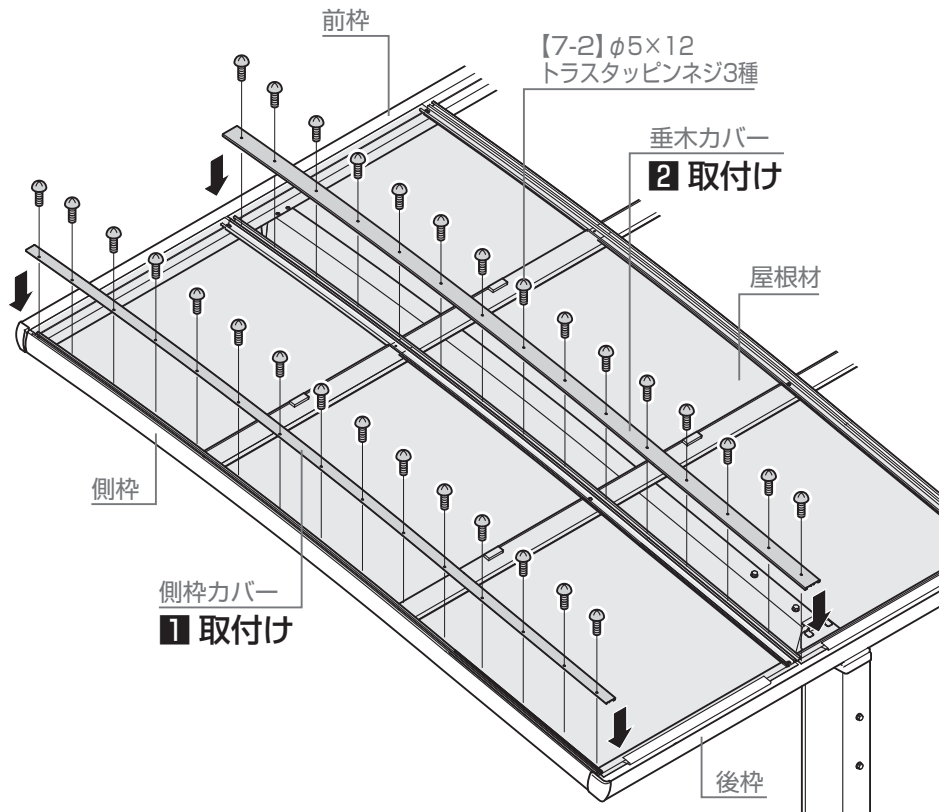
お願い

- 取付けの際はネジの浮き・傾きがないように取付けてください。

- 前枠に突き当てて取付けてください。

- 【7-2】は前枠側から取付けてください。

- 垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。



1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

1-13-4 側枠カバーと垂木カバー(1本目)のシーリング

1: 側枠カバーと前枠接合部にシーリングを塗布

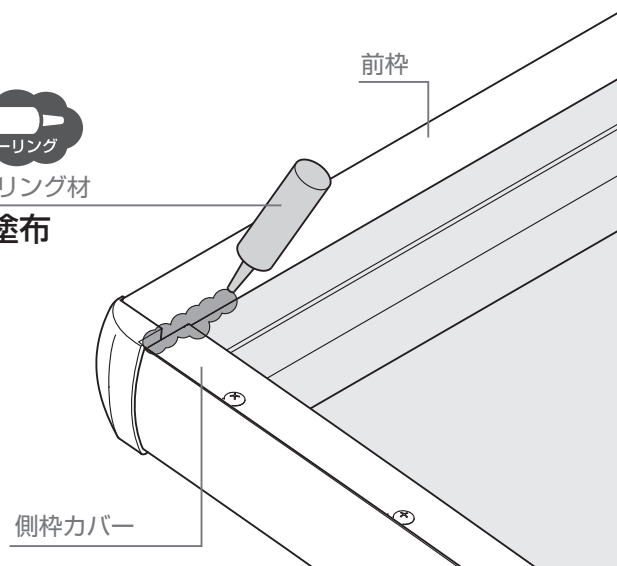
お願い

- ビードの端部はシーリングが浮きやすいので注意してください。



シーリング材

1 塗布



2: 垂木カバーと前枠接合部にシーリングを塗布

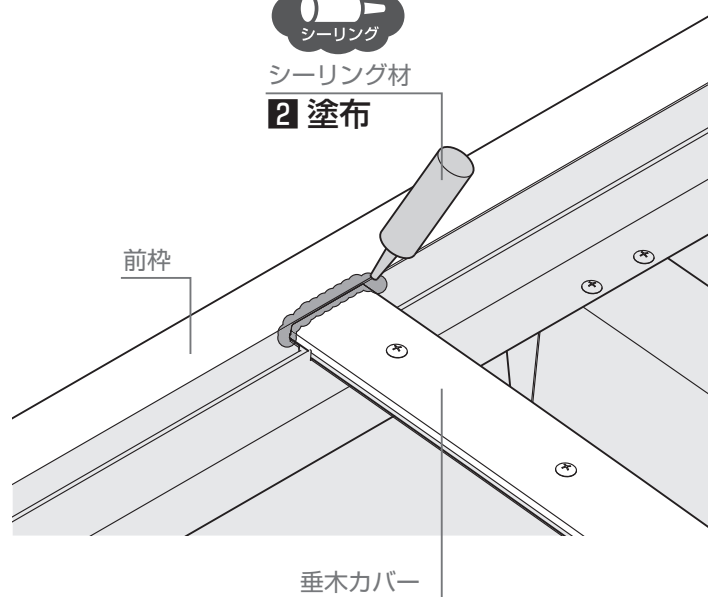
お願い

- シーリングはヘラ等で確実に押さえてください。



シーリング材

2 塗布



1 基本タイプの施工方法

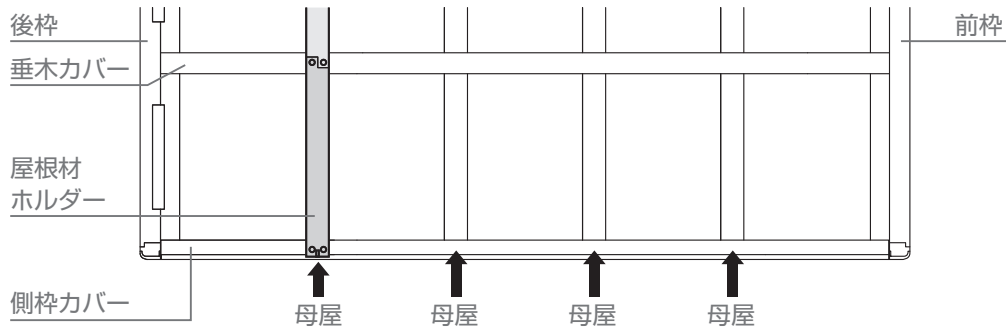
1-13 屋根材の取付け

1-13-5 屋根材ホルダーの取付け

1: 屋根材ホルダーの取付け位置を確認

お願い

- 屋根材ホルダーは後枠側から数えて1本目の母屋の真上の位置に設置するようにしてください。(全サイズ共通)



取付位置

2: 屋根材ホルダーを側枠に【20-1】で取付け

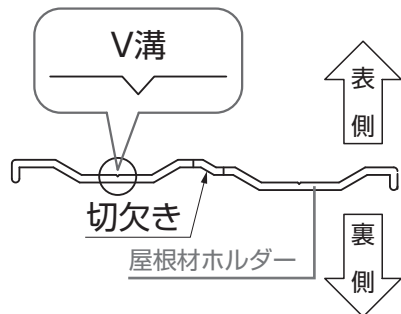
3: 屋根材ホルダーをすでに取付けている屋根材ホルダーに差込み

補足

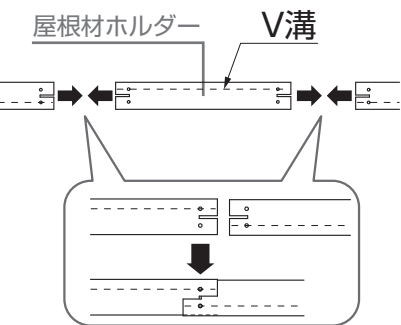
- 側枠カバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。

お願い

- 屋根材ホルダーの表裏に注意してください。



- 2本目以後の取付けは、V溝を点対象の位置にして組付けてください。

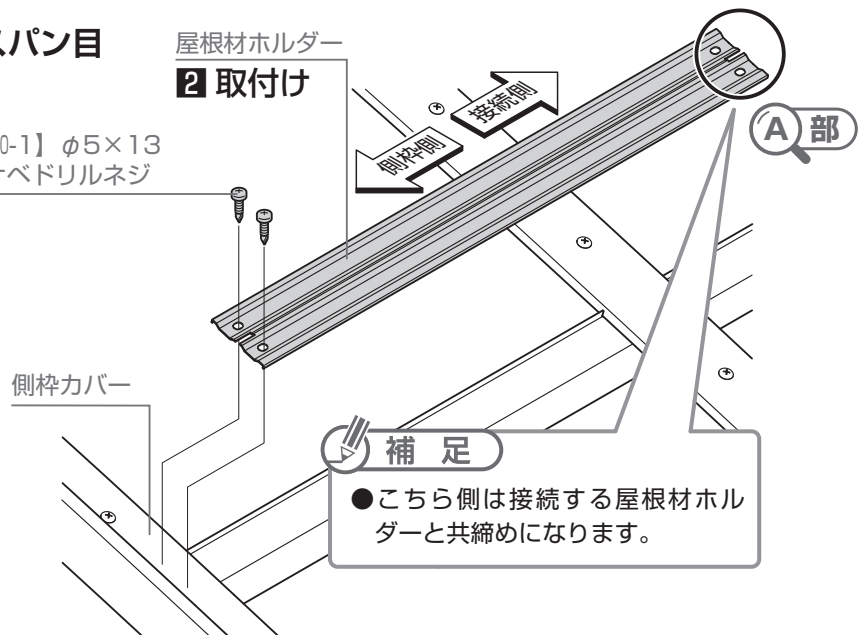


●1スパン目

屋根材ホルダー

2 取付け

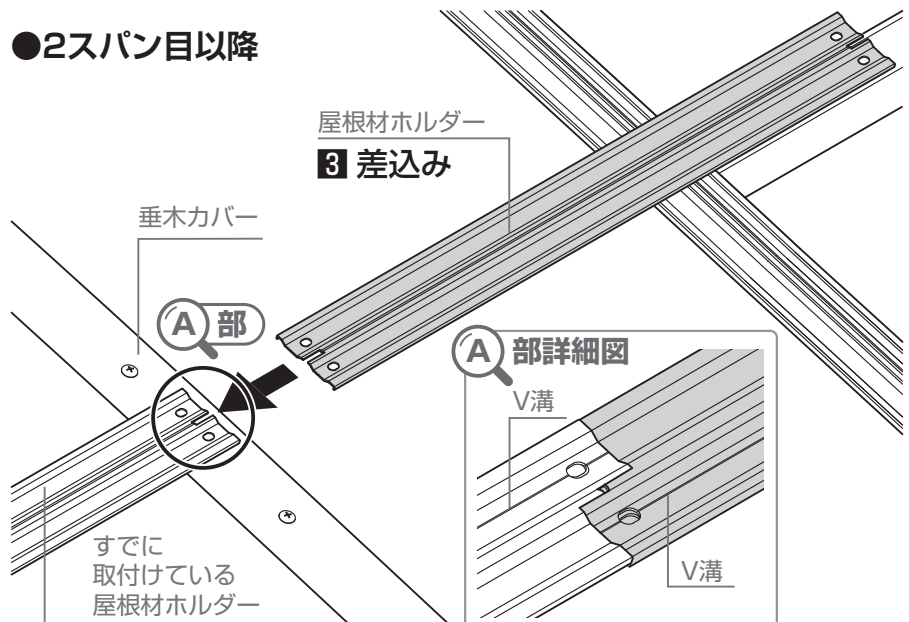
【20-1】φ5×13
ナベドリルネジ



●2スパン目以降

屋根材ホルダー

3 差込み



1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

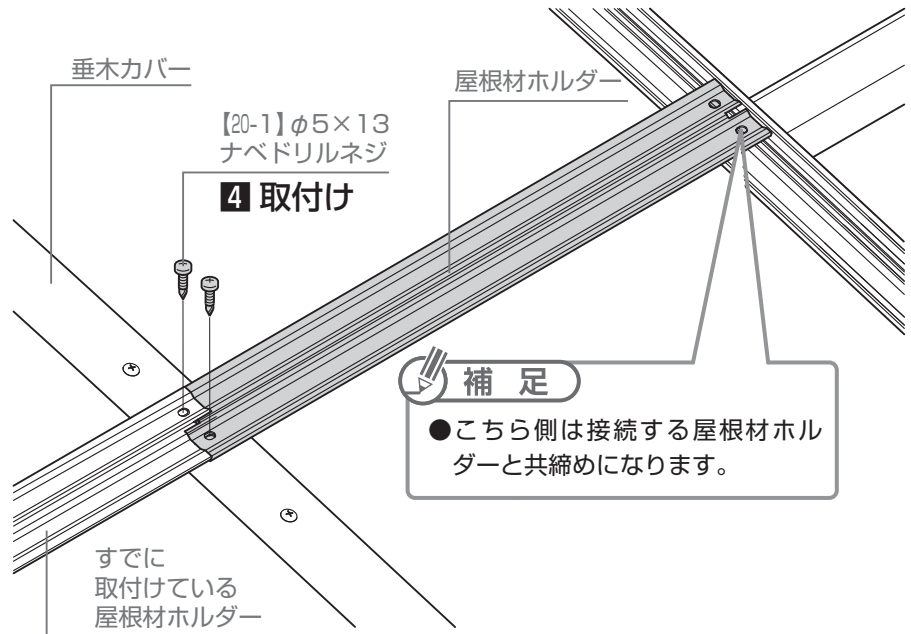
1-13-5 屋根材ホルダーの取付け

つづき

4: 屋根材ホルダーと垂木カバーを【20-1】で取付け

お願い

- 以降の屋根材ホルダーは繰り返しの手順で取付けてください。



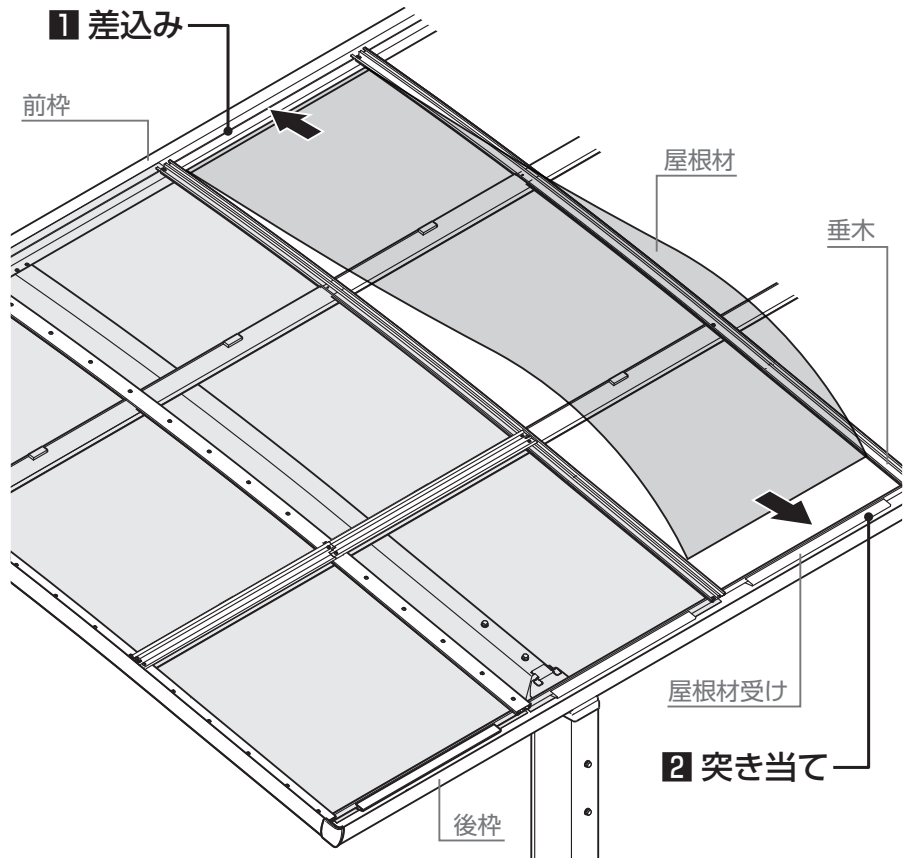
1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

1-13-6 屋根材の取付け (3枚目)

P.22 基本的に屋根材の取付けは1枚目と同様です。詳細に関しては【P.22】を参照してください。

- 1: 屋根材を前枠に差込み
- 2: 屋根材を後枠の屋根材受けに突き当て



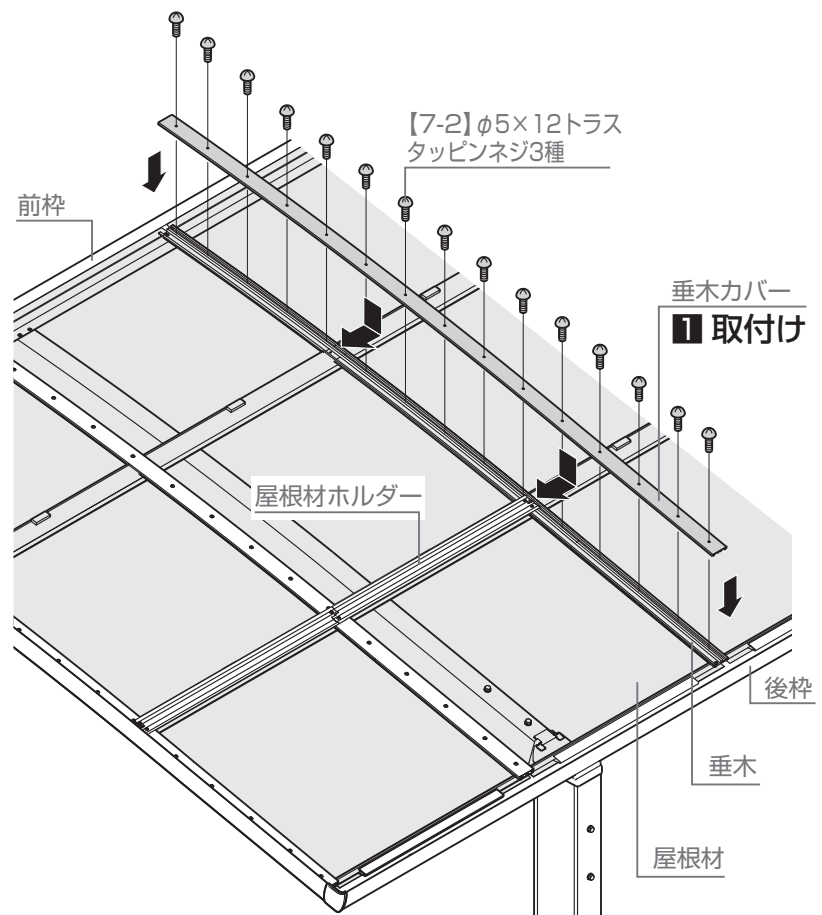
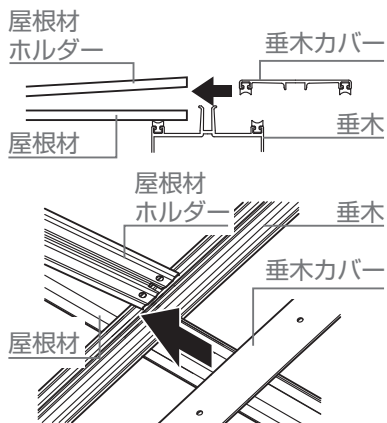
1-13-7 垂木カバーの取付け (2本目)

- 1: 垂木カバーを垂木に【7-2】で取付け

P.23 垂木カバーの取付けは1本目と同様です。詳細に関してはP.23を参照してください。

お願い

- 屋根材カバーを持ち上げて垂木カバーをはめ込んでください。

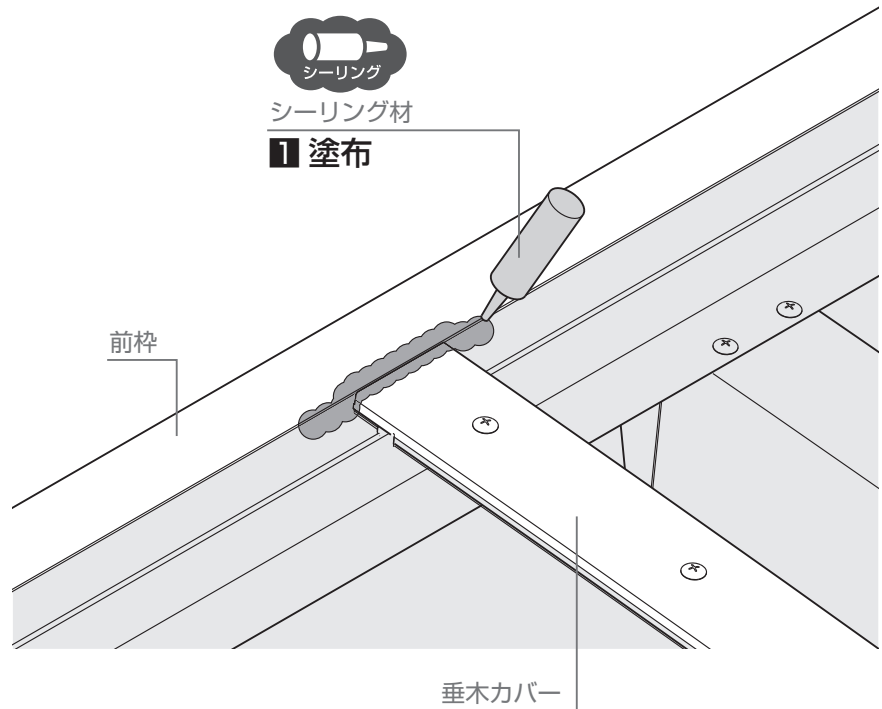


1 基本タイプの施工方法

1-13 屋根材の取付け

1-13-8 垂木カバー（2本目）のシーリング

1: 垂木カバーと前枠の接合部にシーリングを塗布



1-13-9 以降の施工について

🔔 お願い

●以降は以下の手順を繰り返し屋根材を取付けてください。

4. 屋根材ホルダーの取付け (2スパン目)	5. 屋根材の取付け (3枚目)	6. 垂木カバーの取付 (2本目)
<p>P.25</p>	<p>P.27</p>	<p>P.27</p>

1 基本タイプの施工方法

1-14 縦樋の取付け



スマート雨樋の取付けの場合は、【スマート雨樋 取付説明書(D608)】も参照してください。

1: 縦樋を切断

お願い



柱位置を移動して施工の場合

●柱移動距離にあわせて、L寸法を変更してください。

2: 雨樋パッキンと雨樋アタッチメントを前後枠の水抜き穴に【7-2】で取付け

3: 雨樋穴ふさぎキャップと雨樋パッキンを前後枠の水抜き穴に【7-2】で取付け

お願い

●使用しない水抜き穴は雨樋穴ふさぎキャップを取付けて塞いでください。

4: 【7-2】のネジ先にシーリングを塗布

5: でんでんを柱に【18-1】で取付け

6: 雨樋アタッチメントに接着剤を塗布

7: ドレンエルボを雨樋アタッチメントに取付け

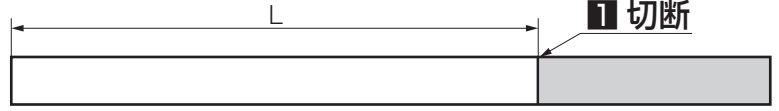
8: ドレンエルボ、92°エルボ、縦樋に接着剤を塗布

9: 横樋をドレンエルボにはめ込み

10: 92°エルボを横樋にはめ込み

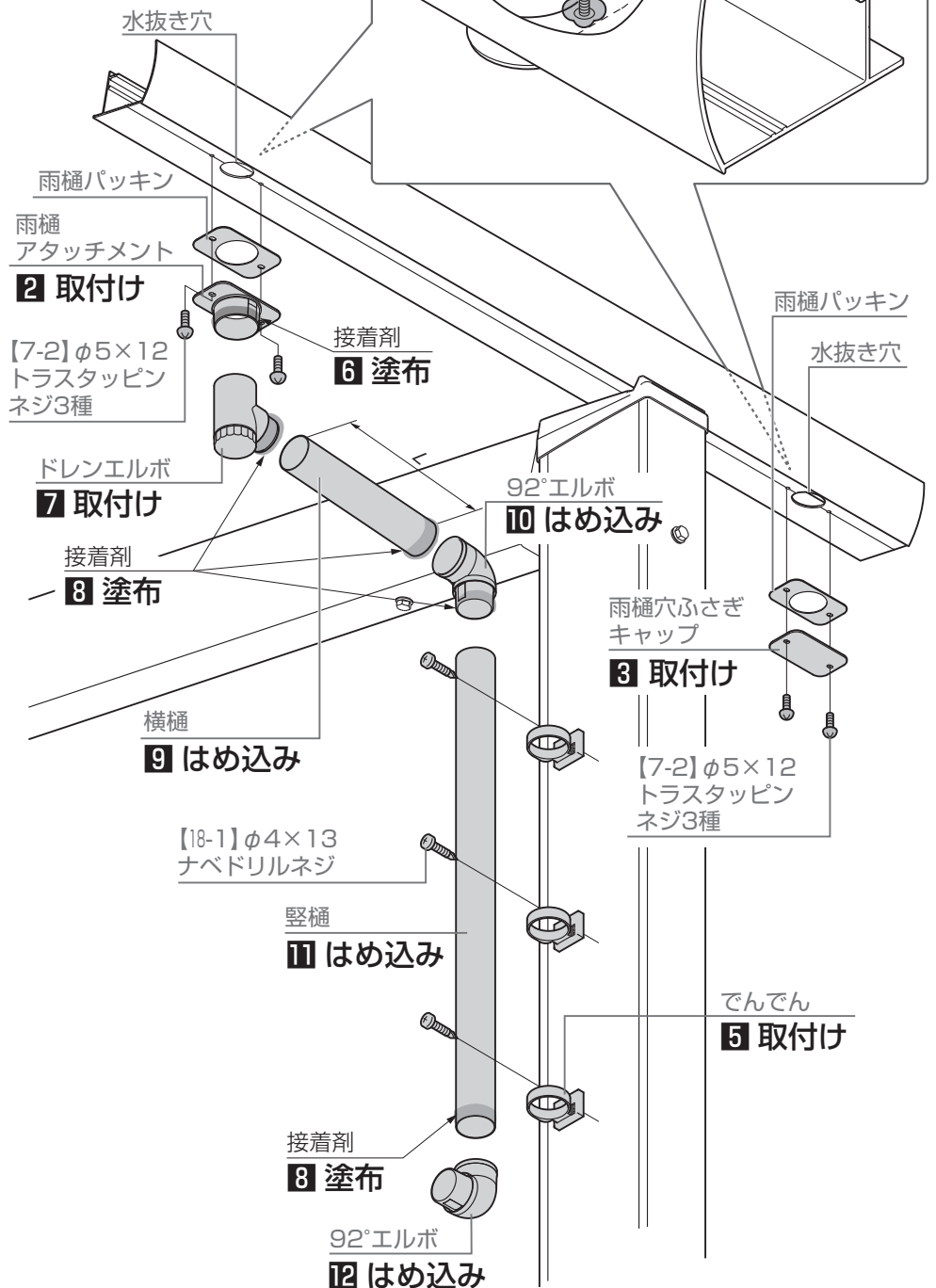
11: 縦樋を92°エルボにはめ込み

12: 92°エルボを縦樋にはめ込み



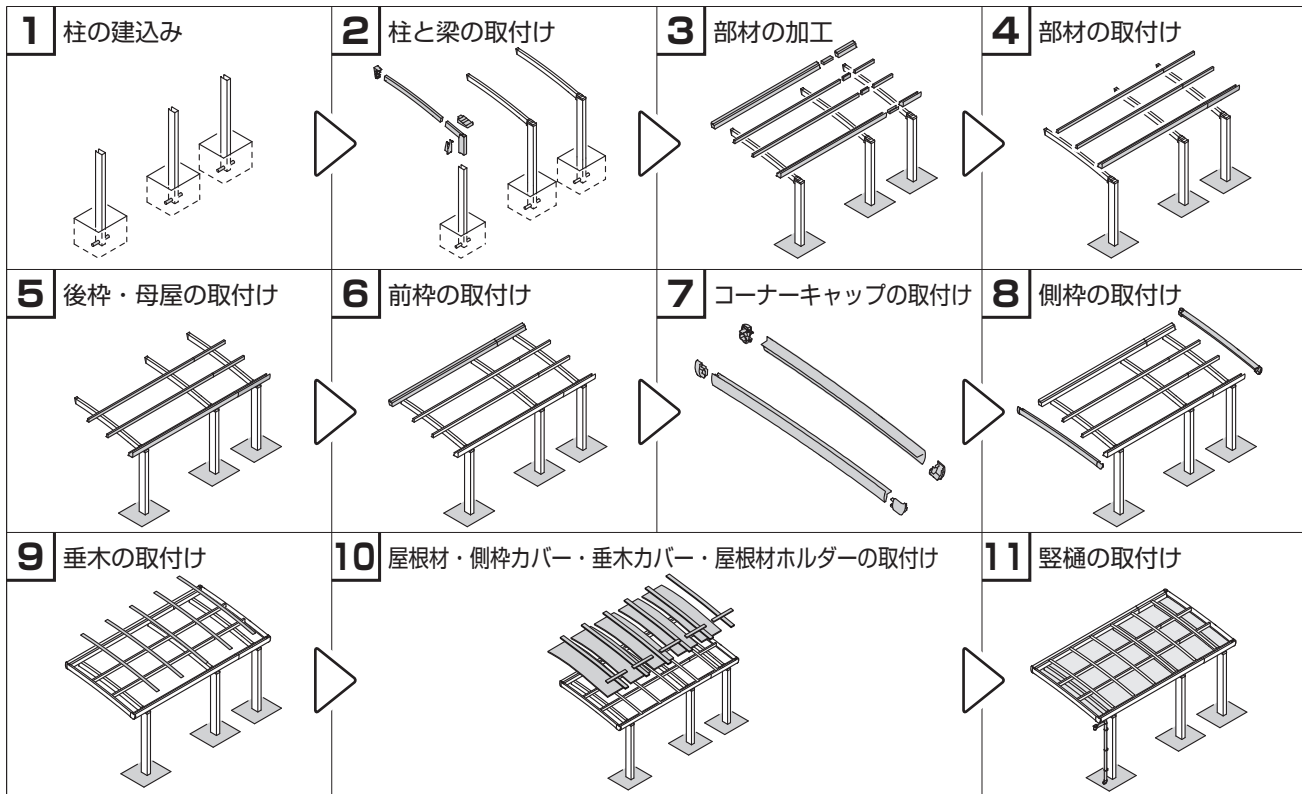
縦樋切断寸法

サイズ	L	
ミニ	22	117
	29	290
	36	465
	43	290
	50	354
1台用	57	507
	14	274
	50	354
	57	507



2 連棟タイプの施工方法

2-1 施工の流れ



2 連棟タイプの施工方法



縦連棟の場合

2-2 確認事項

2-2-1 姿図

注意



柱位置を移動して
施工の場合

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



P.6、7も事前に確認してください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

補足

- ←印は【柱移動】範囲を示します。



ロング柱の場合

- W18～W21:H寸法(※)に+600してください。
- W24～W30:H寸法(※)に+300してください。

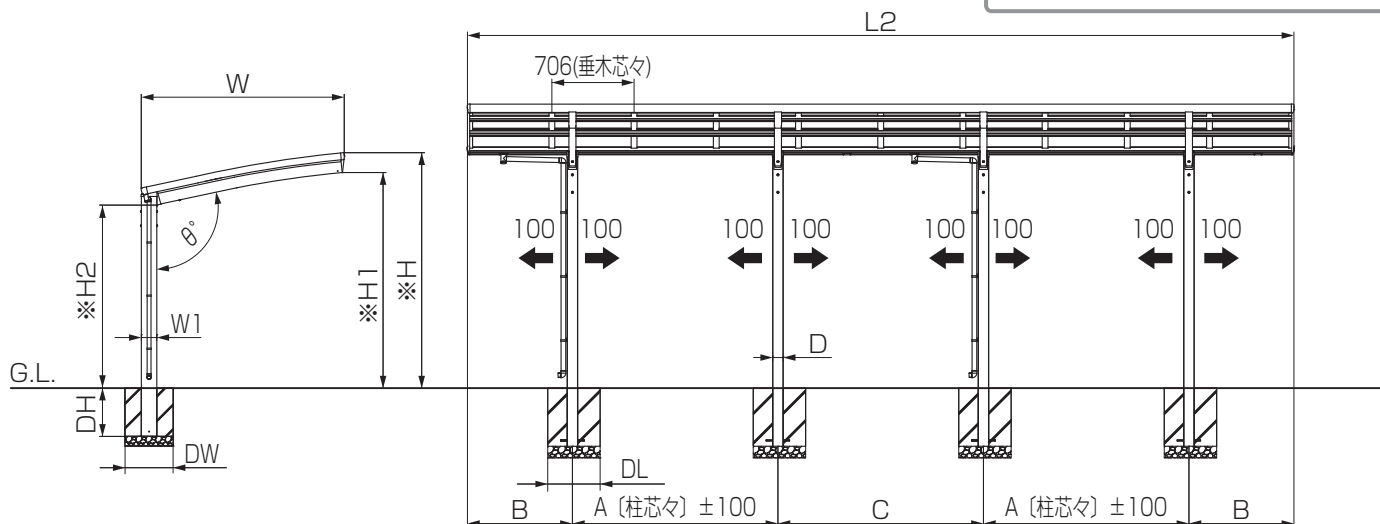


H28柱の場合

- W18～W21:H寸法(※)に+900してください。
- W24～W30:H寸法(※)に+600してください。

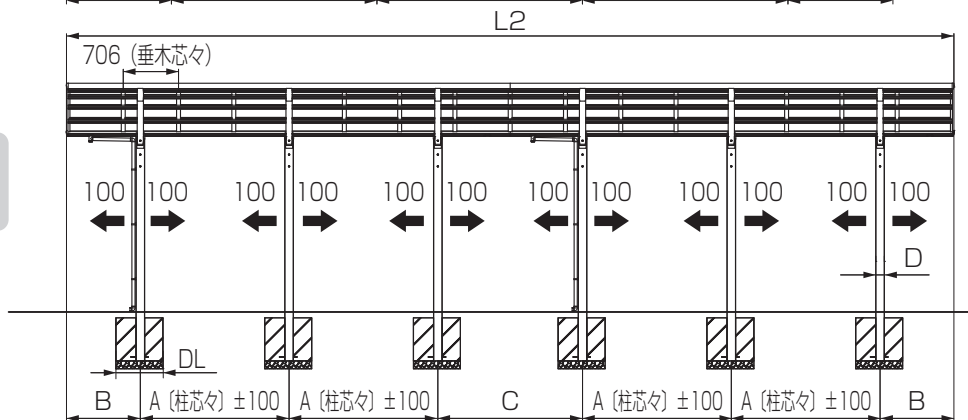
L22~36

▼ L22～L36の場合 ▼



L43~57

▼ L43～L57の場合 ▼



間口		W	W1	※H	※H1	※H2	θ°
≡二	W18	1793	160	2394	2189	1895	102°
	W21	2095	160	2437	2231	1895	102°
1台用	W24	2400	185	2556	2783	2194	102°
	W25	2550	185	2588	2815	2194	102°
	W27	2700	185	2619	2847	2194	102°
	W30	2999	185	2769	2997	2201	105°

奥行		L2	A	B	C	D
≡二	L22	4274	1059	548.5	1059	90
	L29	5686	1412	725	1412	90
	L36	7098	1765	901.5	1.765	90
≡二/1台用	L43	8510	1412	725	1412	90
	L50	9922	1700	790	1542	90/110
	L57	11334	1900	943	1848	90/110

2 連棟タイプの施工方法

2-2 確認事項



▼ 縦連棟の場合 ▼

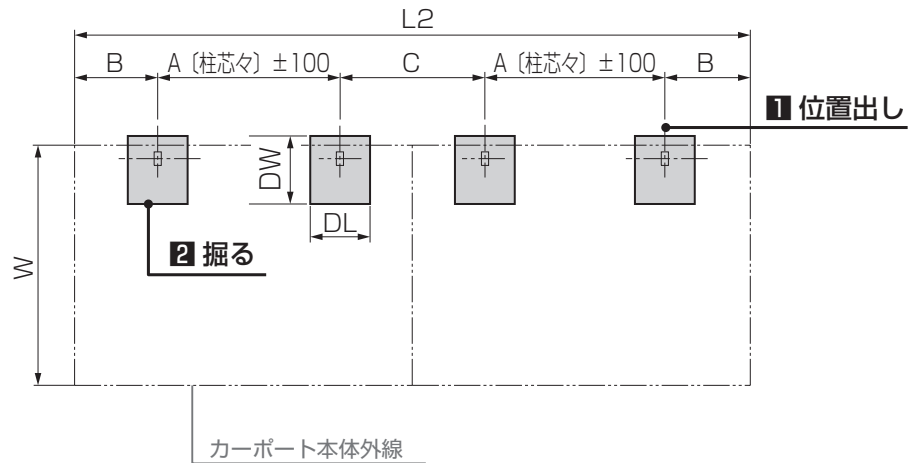
2-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

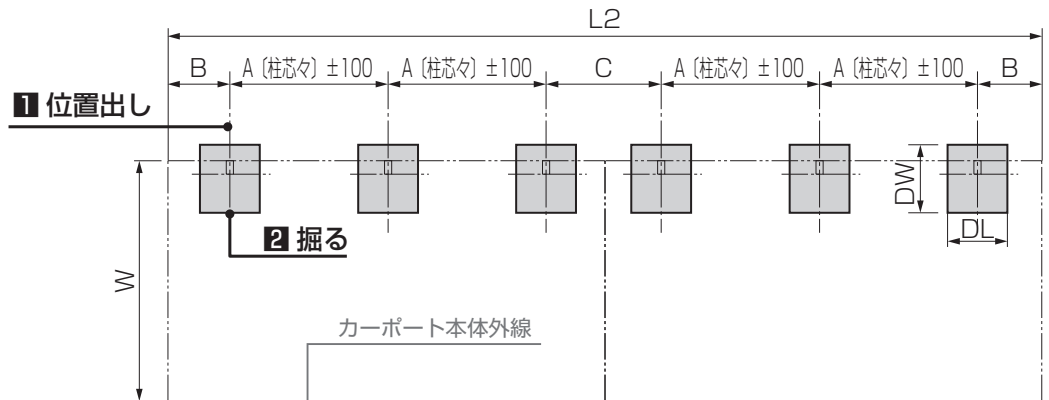
L22~36 ▼ L22~L36の場合 ▼

2: 基礎穴を掘る

P.8 ▼ 基礎寸法数値について ▼
基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。



L43~57 ▼ L43~L57の場合 ▼



2 連棟タイプの施工方法

2-2 確認事項



▼ 14延長の場合 ▼

2-2-3 姿図

注意



▼ 柱位置を移動して
施工の場合 ▼

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



P.7も事前に確認してください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

補足

- 印は【柱移動】範囲を示します。



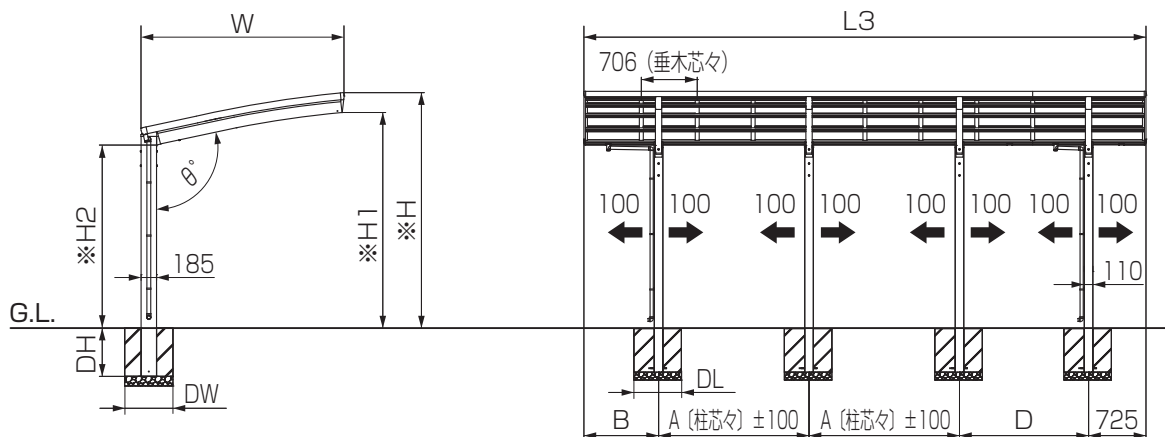
▼ ロング柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+300してください。



▼ H28柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+600してください。



間口		W	※H	※H1	※H2	θ°
1台用	W24	2400	2783	2556	2194	102°
	W25	2550	2815	2588	2194	102°
	W27	2700	2847	2619	2194	102°
	W30	2999	2997	2769	2201	105°

奥行		L3	A	B	D
1台用	L50+14	6392	1700	790	1477
	L57+14	7098	1900	943	1630

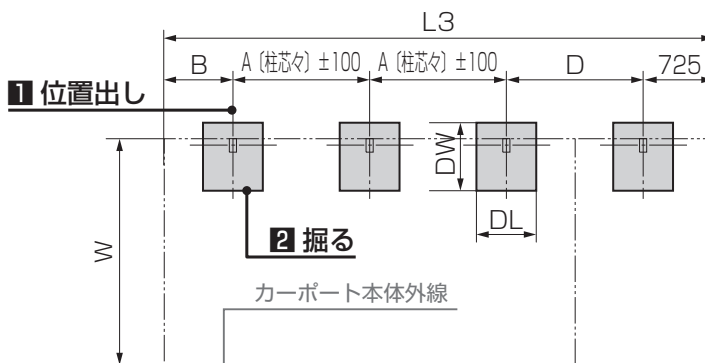
2-2-4 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る



▼ 基礎寸法数値について ▼
基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。



2 連棟タイプの施工方法

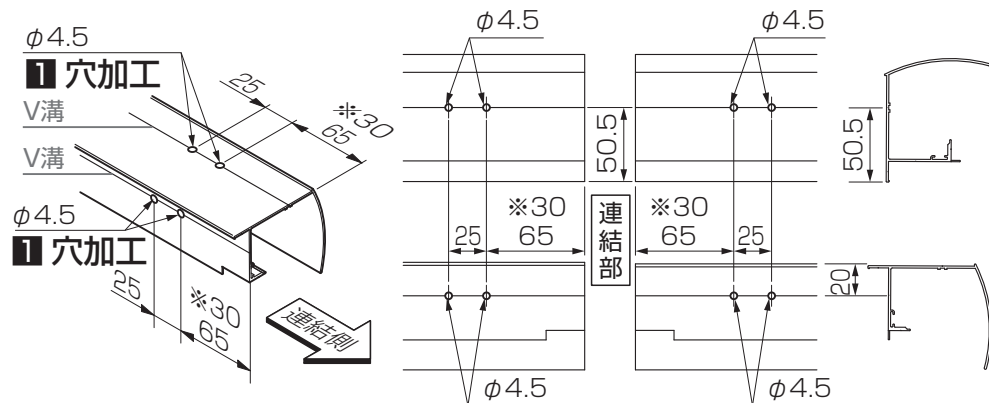
2-3 部材の加工

🔗 お願い

●※印寸法は縦連棟（L22・L29）の場合の寸法を示します。

2-3-1 後枠の加工

■：後枠にφ4.5の穴加工

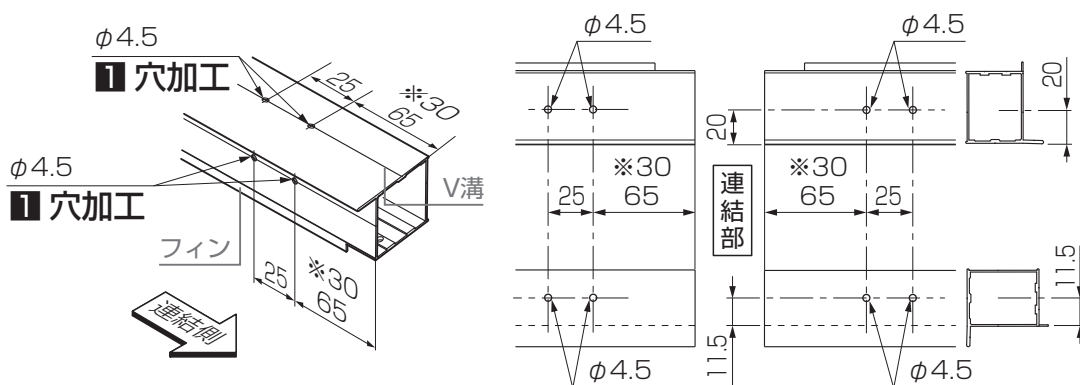


2-3-2 母屋の加工

■：母屋にφ4.5の穴加工

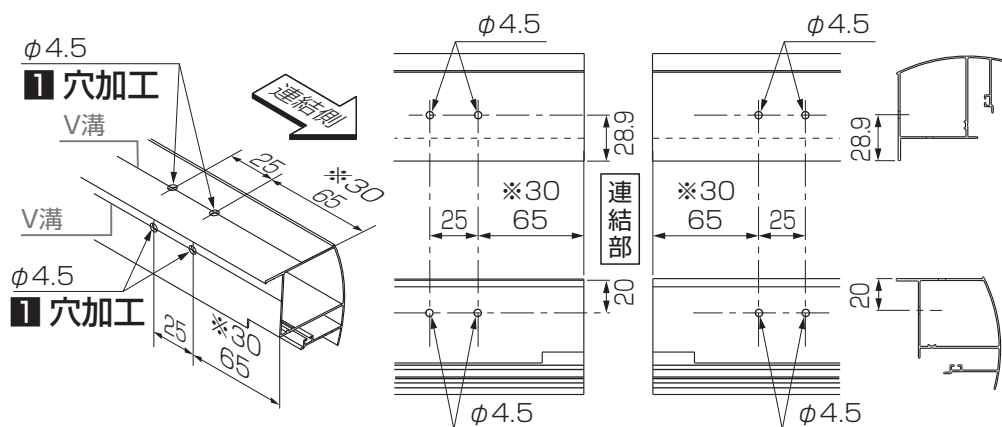
🔧 補足

●側面の穴加工はフィン側にしてください。



2-3-3 前枠の加工

■：前枠にφ4.5の穴加工



2 連棟タイプの施工方法

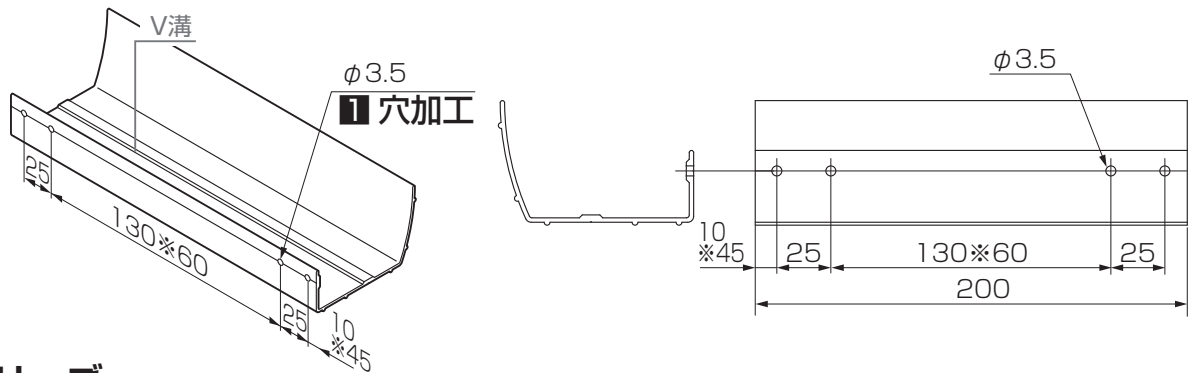
2-3 部材の加工

🔦 お願い

●※印寸法は縦連棟（L22・L29）の場合の寸法を示します。

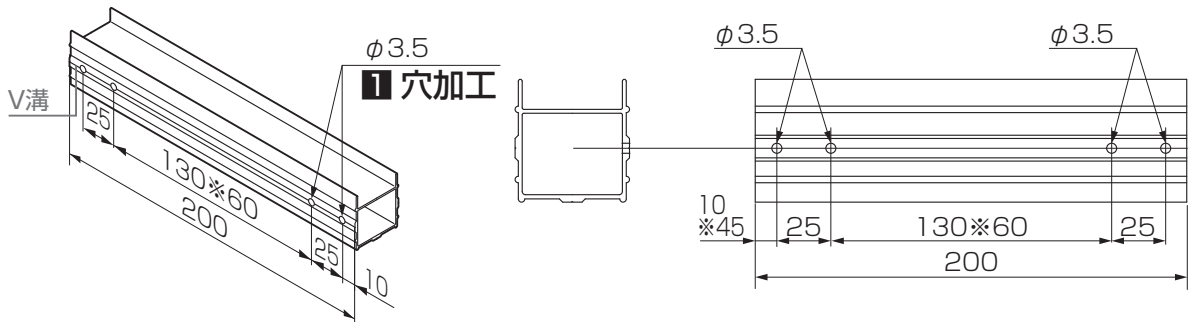
■ 後枠スリーブ

1: 後枠スリーブにφ3.5の穴加工



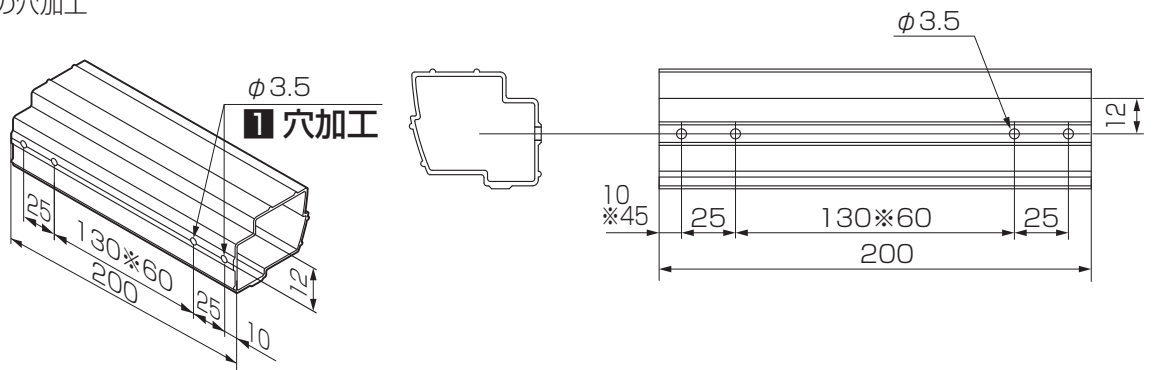
■ 母屋スリーブ

1: 母屋スリーブにφ3.5の穴加工



■ 前枠スリーブ

1: 前枠スリーブにφ3.5の穴加工



2 連棟タイプの施工方法

2-4 部材の取付け

2-4-1 スリーブの取付け

1: 連結する後枠・母屋・前枠の片側にスリーブを挿入

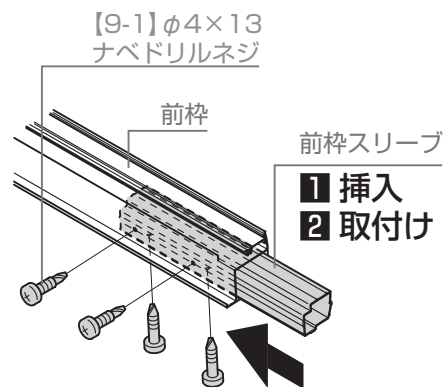
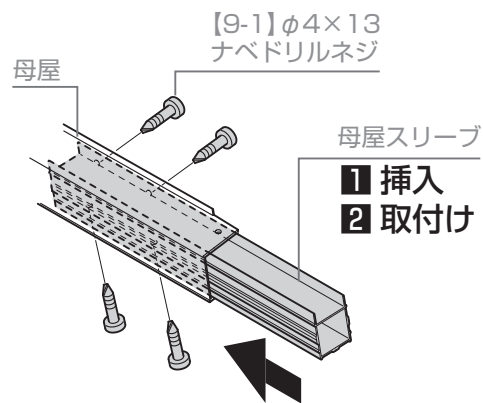
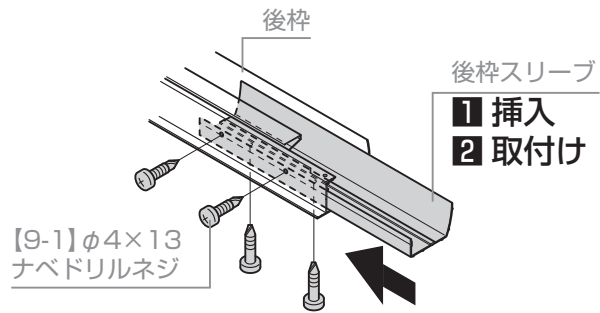
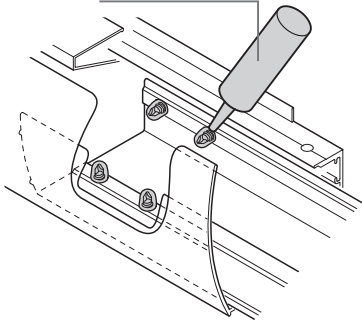
2: スリーブを後枠・母屋・前枠に【9-1】で取付け

お願い

●加工穴にシーリング材を塗布してからネジ止めしてください。

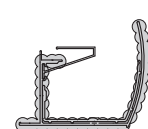
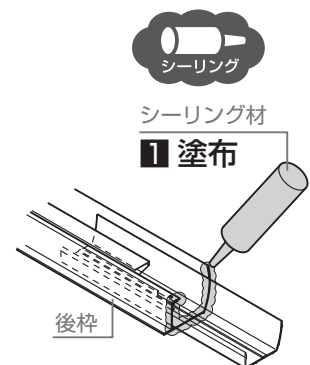
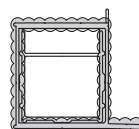
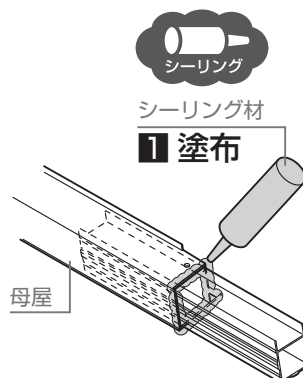
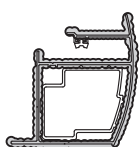
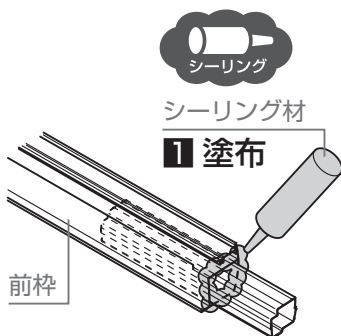


シーリング材



2-4-2 連結部のシーリング

1: 連結部にシーリングを塗布



2 連棟タイプの施工方法

2-4 部材の取付け

2-4-3 連結

1: 反対側の後枠・母屋・前枠をスリーブに挿入

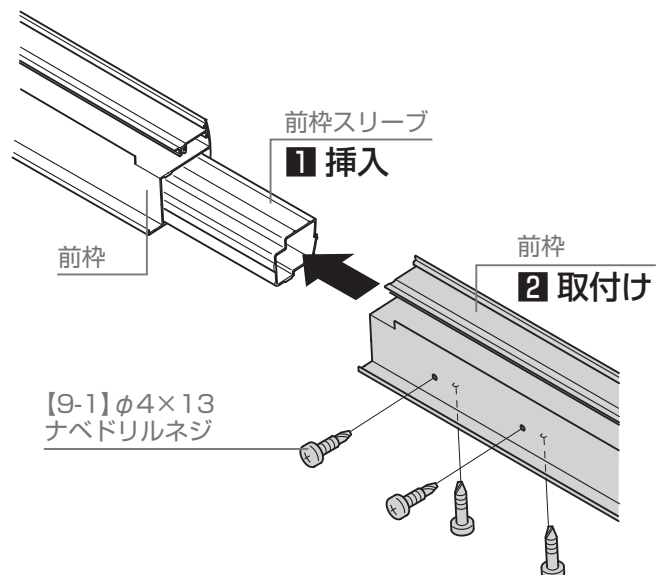
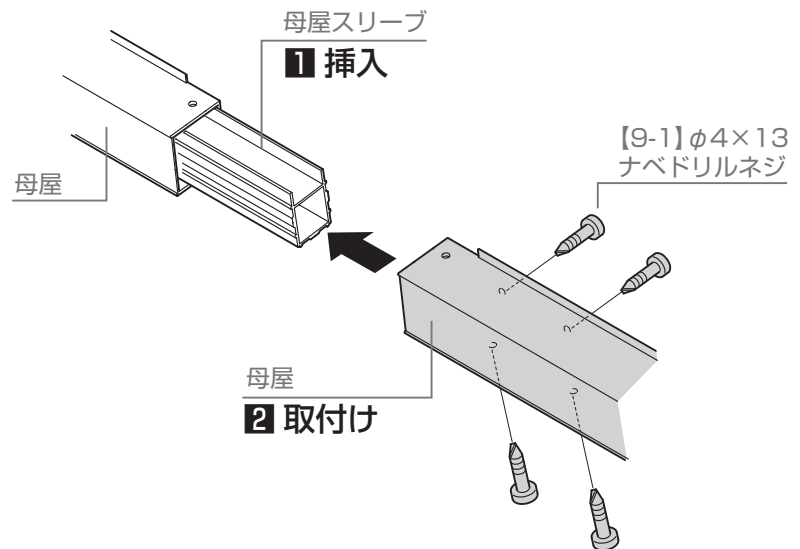
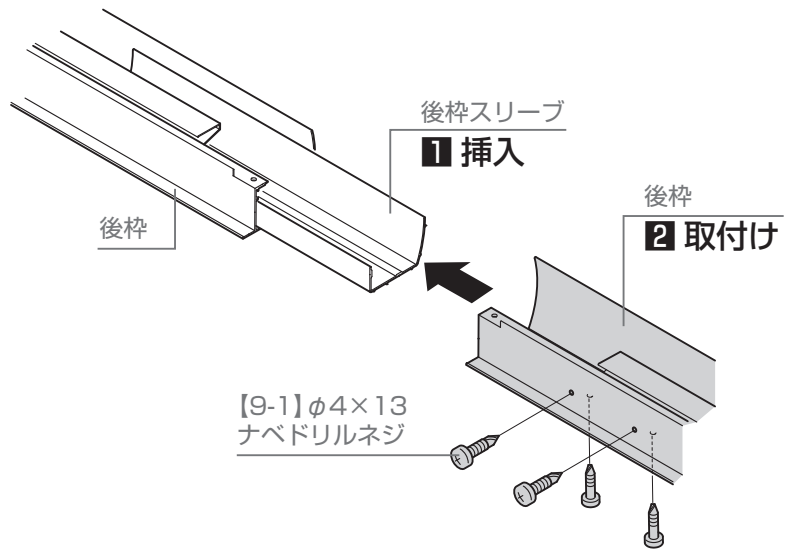
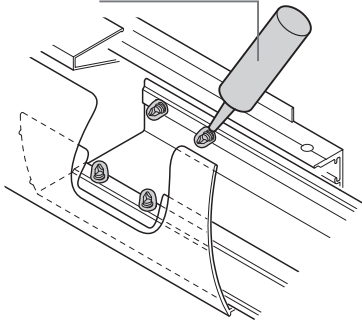
2: 後枠・母屋・前枠の片側にスリーブを【9-1】で取付け

お願い

●加工穴にシーリング材を塗布してからネジ止めしてください。



シーリング材

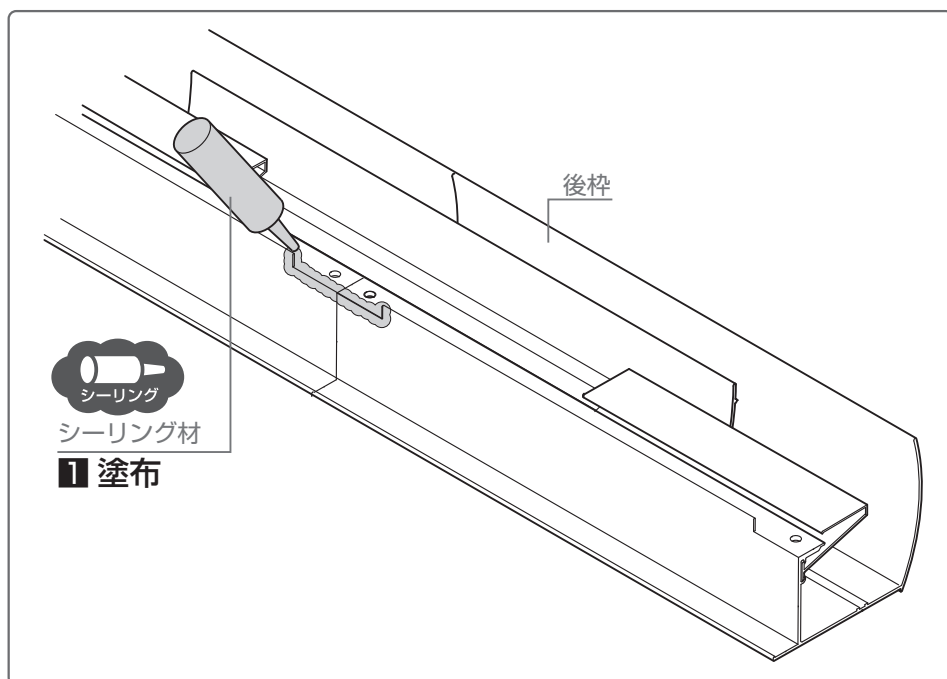


2 連棟タイプの施工方法

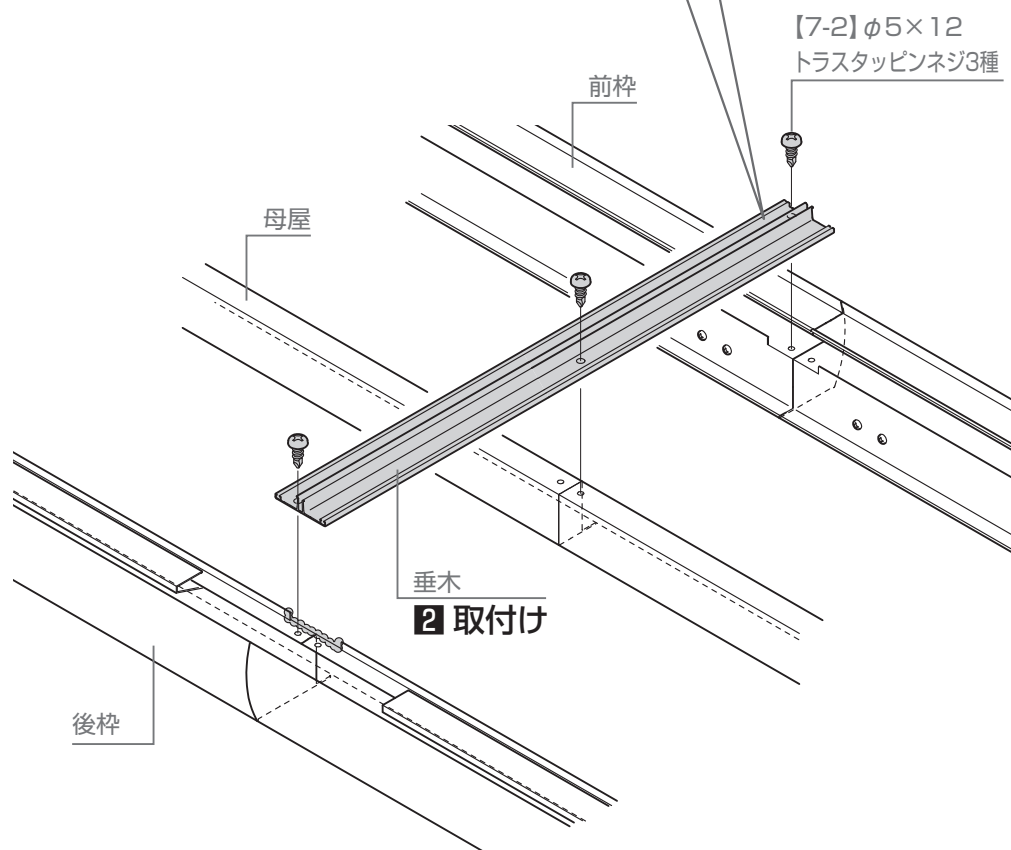
2-4 部材の取付け

2-4-4 垂木の取付け

- 1: 後枠の切欠き部にシーリング材を塗布

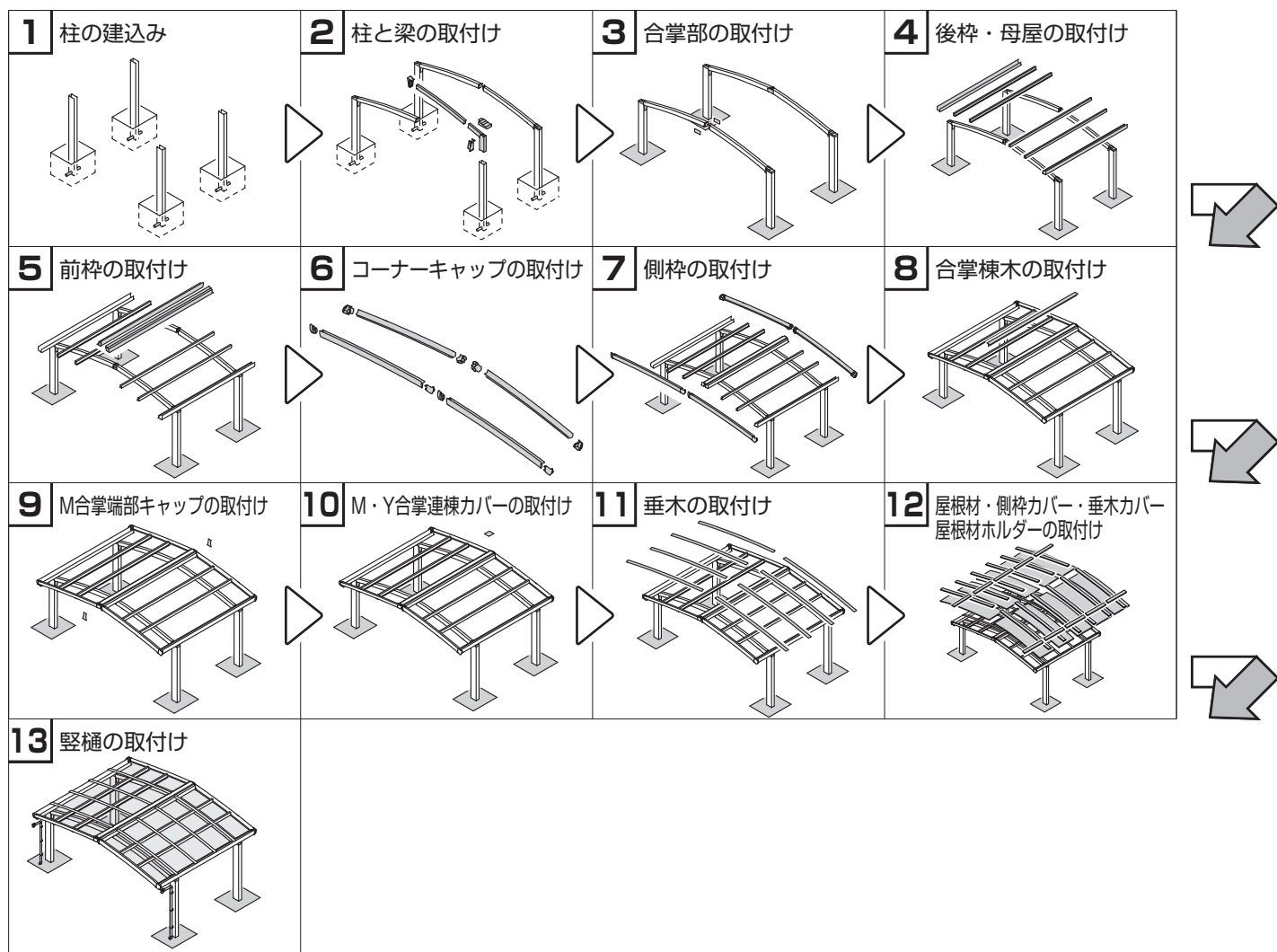


- 2: 垂木を連結部分に【7-2】で取付け



3 M合掌タイプの施工方法

3-1 施工の流れ



3 M合掌タイプの施工方法

3-2 確認事項

3-2-1 姿図

注意

柱位置を移動して施工の場合

- 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

P.7 P.7も事前に確認してください。

お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

補足

- ←印は【柱移動】範囲を示します。

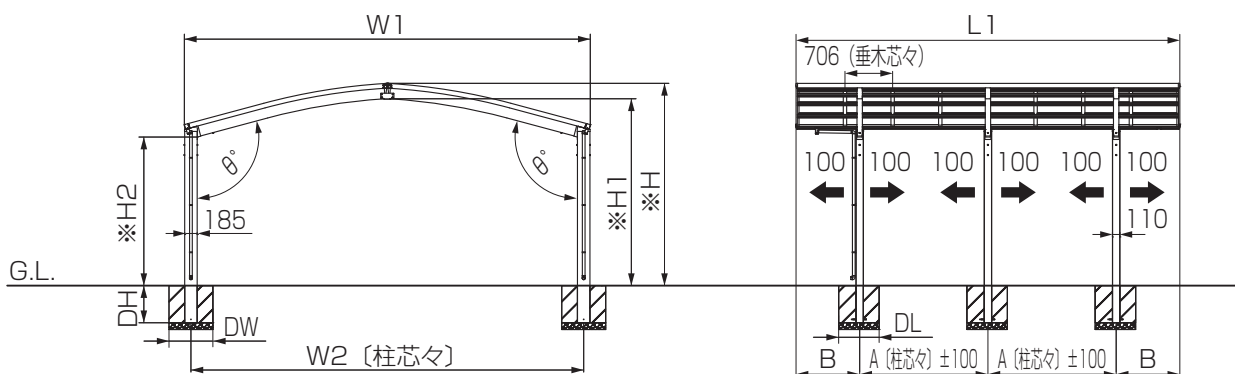
補足

ロング ▼ ロング柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+300してください。

H28 ▼ H28柱の場合 ▼

- H寸法(※)に+600してください。



間口		W1	W2	※H	※H1	※H2	θ°
1台用	W24-24	4815	4625	2785	2556	2194	102°
	W24-25	4965	4775	2785	2556	2194	102°
	W25-25	5115	4925	2817	2588	2194	102°
	W25-27	5265	5075	2817	2588	2194	102°
	W25-30	5564	5371	2817	2588	2194	102°
	W27-27	5415	5225	2849	2619	2194	102°
	W27-30	5714	5521	2849	2619	2194	102°
	W30-30	6013	5817	2998	2769	2201	105°

奥行		L1	A	B
1台用	L50	4980	1700	790
	L57	5686	1900	943

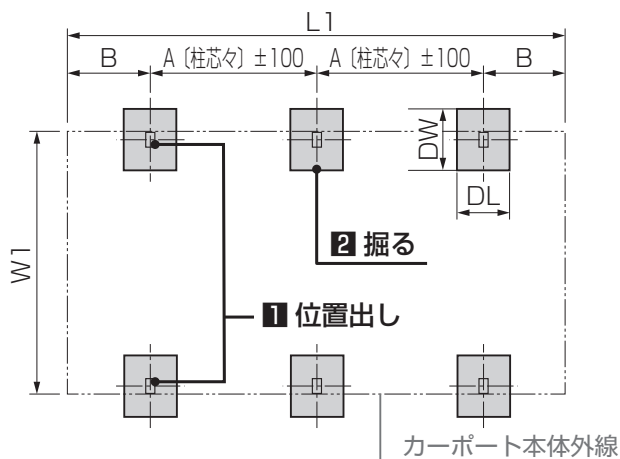
3-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る

P.8 ▼ 基礎寸法数値について ▼

基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。

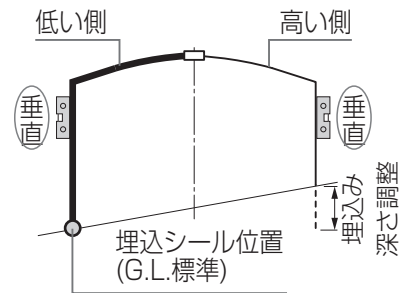


3 M合掌タイプの施工方法

3-3 合掌部の取付け

お願い

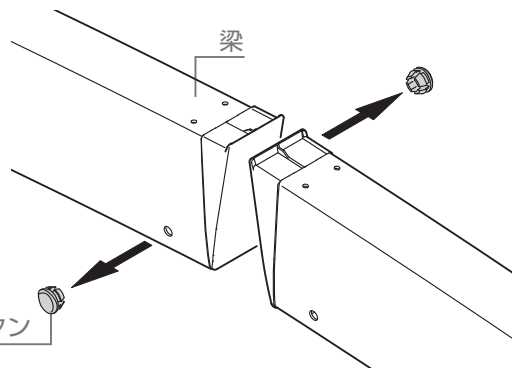
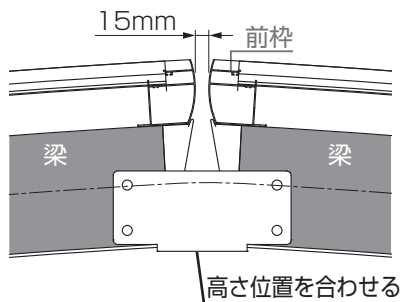
- 低い側の本体高さを基準とし、高い側の本体の埋め込み深さを調整して、本体高さを合わせ、柱が垂直になるよう施工してください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。



1: 梁のプッシュボタンを外す

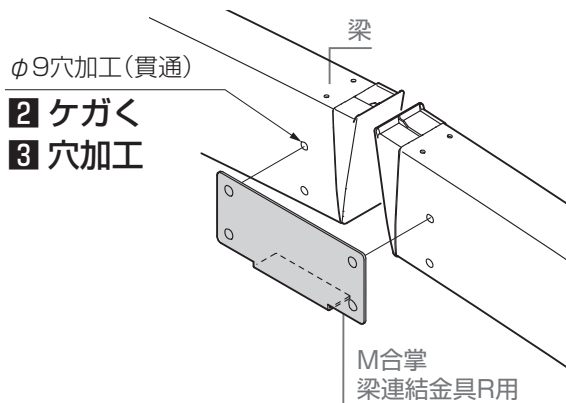
お願い

- 前枠と前枠の間隔が15mmであることを確認してください。
- 左右の梁高さを合わせて下さい。漏水の原因になります。



プッシュボタン

1 外す



- 2 ケガク
- 3 穴加工

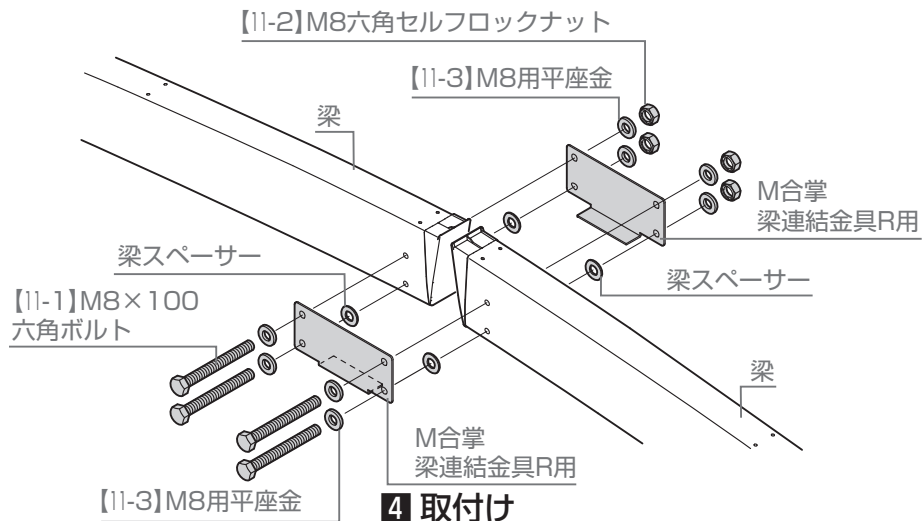
2: 梁にM合掌梁連結金具を当てがい穴位置をケガク

3: 梁にφ9の穴加工

4: 梁と梁をM合掌梁連結金具R用と梁スペーサー、【11-1】、【11-2】、【11-3】で取付け

お願い

- ボルトを締付ける際は 梁が変形してしまいますので締め込みすぎないように取付けてください。
- ボルトを締付ける際は、左右の梁の高さを合わせてください。高さに差ができますと合掌棟木が傾いた状態で取り付けられ漏水するおそれがあります。



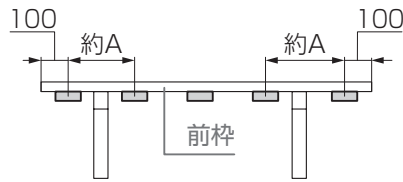
4 取付け

3 M合掌タイプの施工方法

3-4 合掌棟木の取付け

お願い

- 段差を付けて施工する場合はM・Y合掌棟木を段差寸法分切断してから取付けてください。
- M合掌固定金具R用は図の位置に取付けてください。固定金具取付位置に梁がある場合は、ずらして取付けてください。段差を付けて施工する場合はAが均等になるように計算して取付けてください。

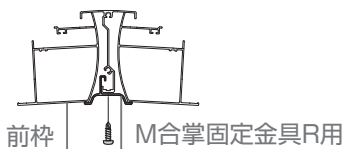


サイズ (奥行)	A	取付個数	
レギュラー	L50	1625	4
	L57	1395	5

- 1: M・Y合掌棟木を前柵と前柵の間に差込む
- 2: M合掌固定金具R用をM・Y合掌棟木に【11-4】で取付け

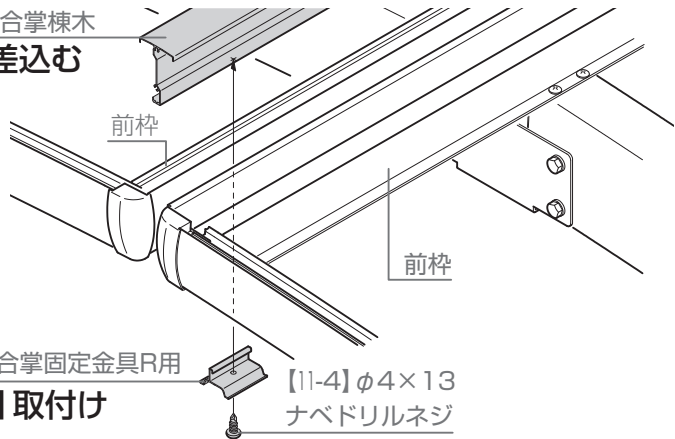
お願い

- M合掌固定金具R用はM・Y合掌棟木にかん合させて固定してください。



M・Y合掌棟木

1 差込む



2 取付け

3-4 合掌棟木の取付け



▼ 縦連棟の場合 ▼

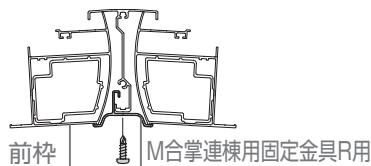


▼ 14延長の場合 ▼

- 1: 前柵スリーブで前柵同士を連結
- 2: M・Y合掌棟木を前柵と前柵の間に乗せて、M合掌連棟用固定金具R用を【11-4】で取付け

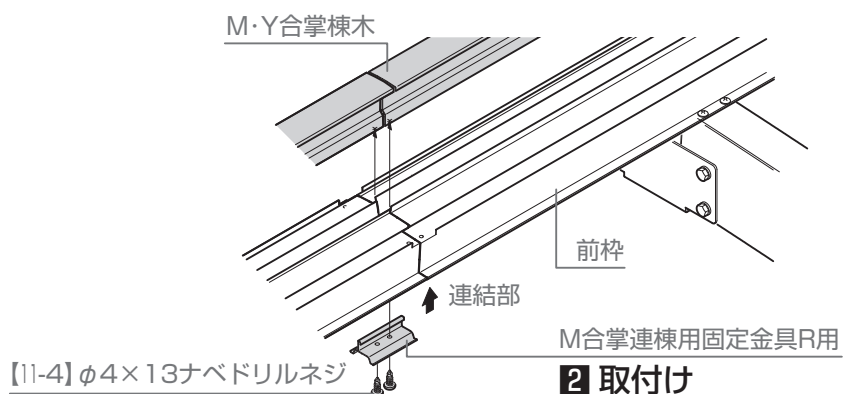
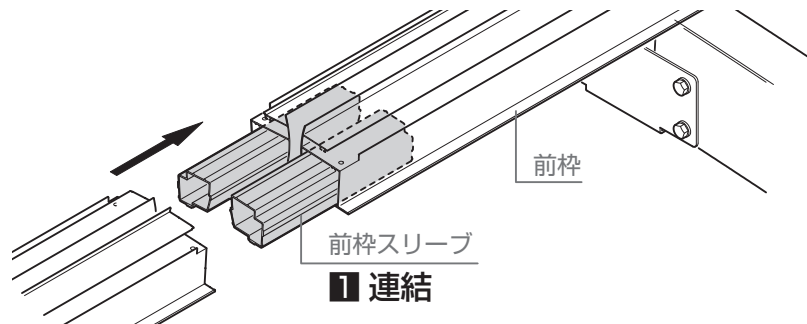
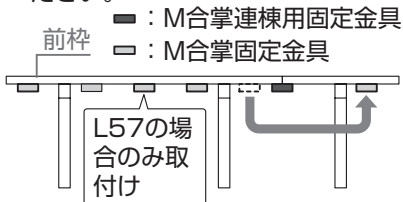
補足

- M合掌固定金具R用はM・Y合掌棟木にかん合させて固定してください。



▼ 14延長の場合 ▼

- 固定金具は図の位置に取付けてください。



3 M合掌タイプの施工方法

3-5 M合掌端部キャップの取付け

1: M合掌端部キャップR用にシーリングを塗布



2: M合掌端部キャップR用を【11-5】で取付け

【11-5】φ4×20
トラスタッピンネジ2種

M・Y合掌棟木

2 取付け

3: M合掌端部キャップR用およびM・Y合掌棟木にシーリングを塗布



3-6 M・Y合掌連棟カバーの取付け



▼ 縦連棟の場合 ▼



▼ 14延長の場合 ▼

1: M・Y合掌連棟カバー R用をM・Y合掌棟木に【13-1】で取付け

【13-1】φ4×13
ナベドリルネジ

M・Y合掌
連棟カバーR用

1 取付け

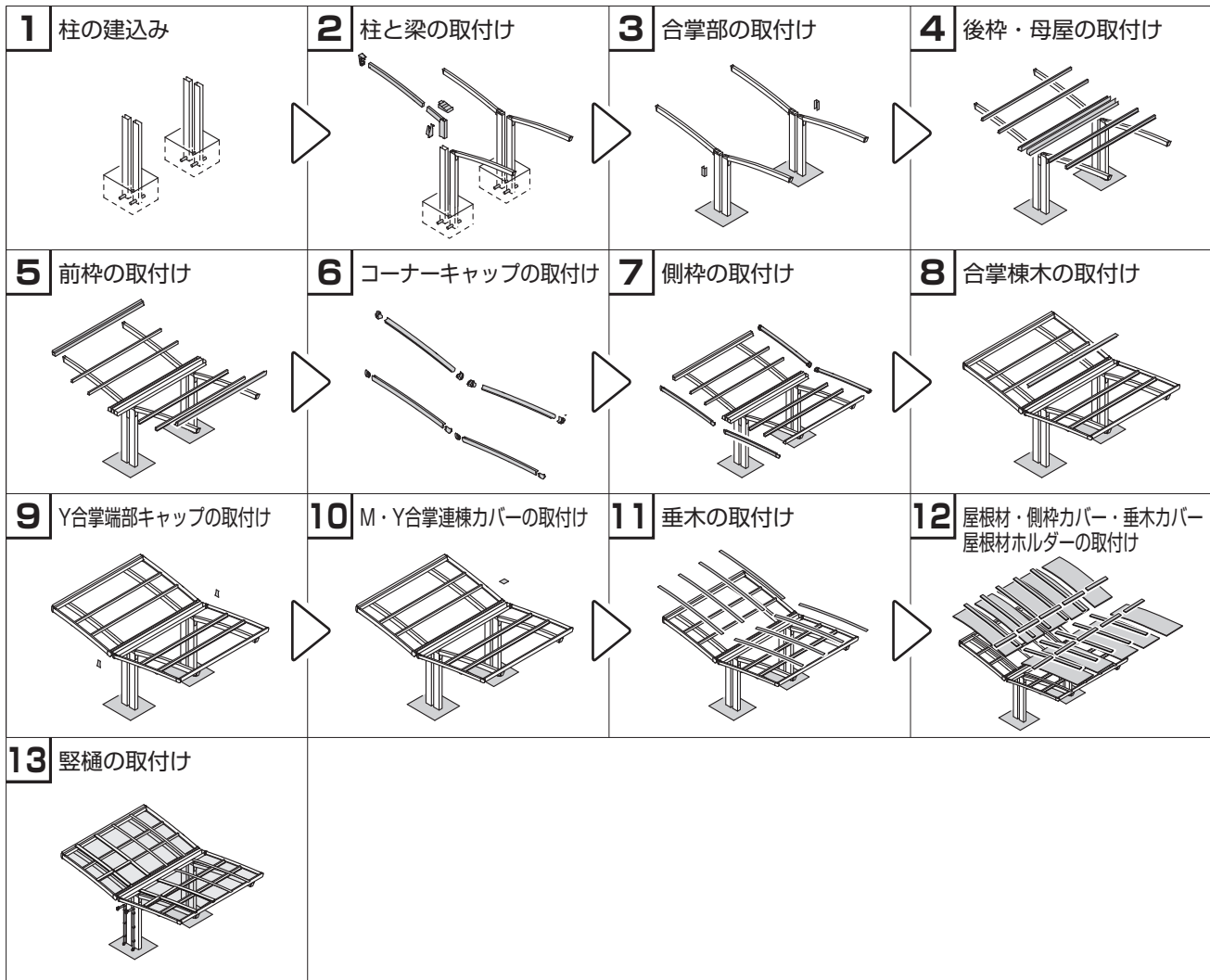
M・Y合掌棟木

2: M・Y合掌連棟カバー R用とネジ頭にシーリングを塗布



4 Y合掌タイプの施工方法

4-1 施工の流れ



4 Y合掌タイプの施工方法

4-2 確認事項

4-2-1 姿図

注意

柱位置を移動して施工の場合

● 柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

P.6、7 P.6、P.7も事前に確認してください。

お願い

● 柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

補足

● ←印は【柱移動】範囲を示します。

補足

ロング ▼ ロング柱の場合 ▼

● W18～W21：H寸法（※）に+600してください。

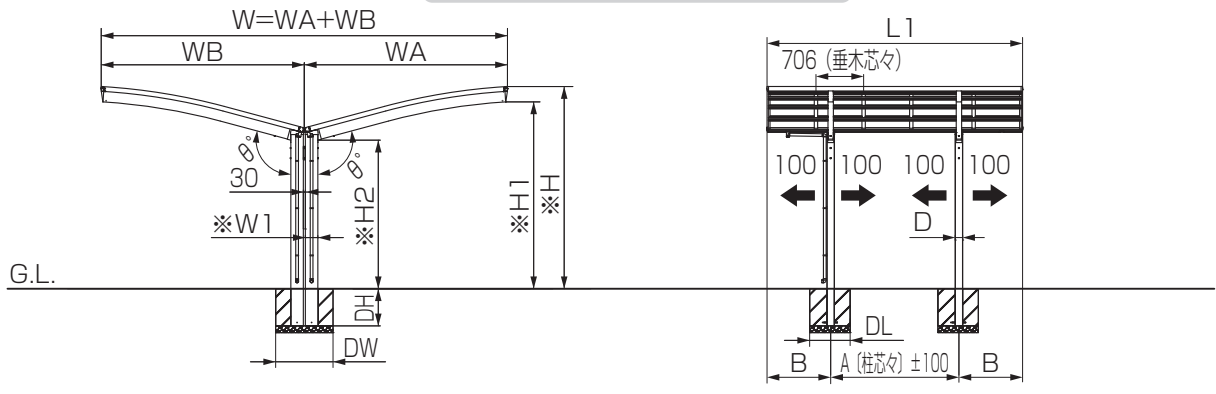
● W24～W30：H寸法（※）に+300してください。

H28 ▼ H28柱の場合 ▼

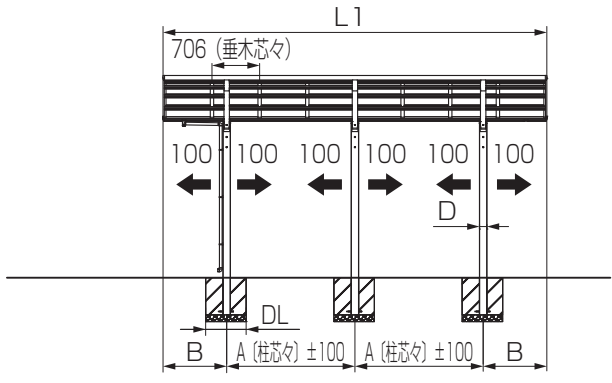
● W18～W21：H寸法（※）に+900してください。

● W24～W30：H寸法（※）に+600してください。

L22～36 ▼ L22～L36の場合 ▼



L43～57 ▼ L43～L57の場合 ▼



間口		W	W1	WA, WB	※H	※H1	※H2	θ°
≡二	W18	3614	160	1807	2394	2189	1895	102°
	W21	4218	160	2109	2437	2231	1895	102°
1台用	W24	4826	185	2413	2783	2556	2194	102°
	W25	5126	185	2563	2815	2588	2194	102°
	W27	5426	185	2713	2847	2619	2194	102°
	W30	6018	185	3009	2997	2769	2201	105°

奥行		L1	A	B	D
≡二	L22	2156	1059	548.5	90
	L29	2862	1412	725	90
	L36	3568	1765	901.5	90
	L43	4274	1412	725	90
≡二/1台用	L50	4980	1700	790	90/110
	L57	5686	1900	943	90/110

4 Y合掌タイプの施工方法

4-2 確認事項

4-2-2 基礎の墨出し

1: 柱の埋込み位置を出す

2: 基礎穴を掘る

P.8 ▼ 基礎寸法数値について ▼
基礎寸法「DW」「DL」は「P.8」を参照してください。

土間コン ▼ 土間コンクリート仕上げの場合 ▼

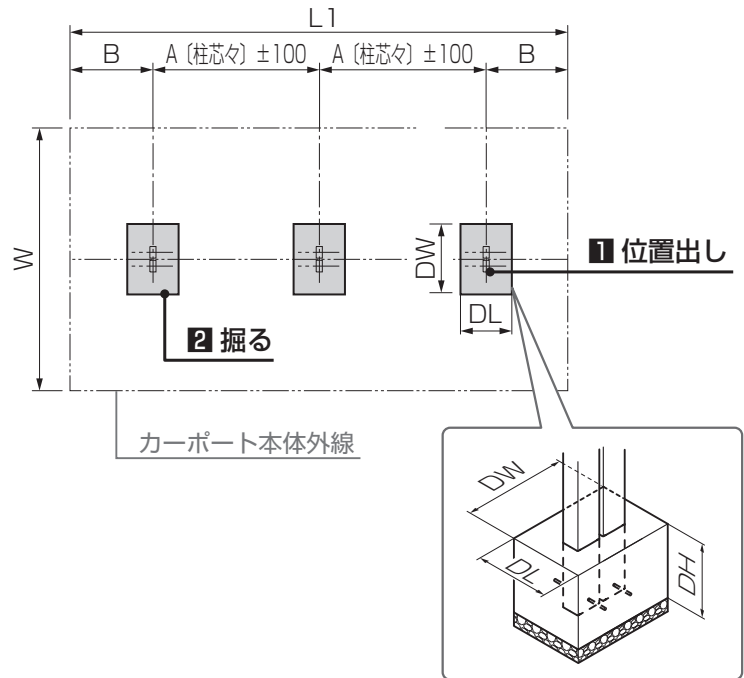
P.8 基礎張り出し部（あご）の施工方法については「P.8」を参照してください。

補足

- 「DW」中心位置が柱間の中心、「DL」中心位置が柱芯となります。
- 間口違いの場合は、間口が大きい側の基礎寸法で施工してください。

補足

- ミニ凍上柱の場合、独立基礎寸法を「DW:700、DL:650、DH:1000」で施工してください。
- 1台用凍上柱の場合、独立基礎寸法を「DW:800、DL:700、DH:1000」で施工してください。
- 凍上柱の場合、土間併用基礎の対応はできません。



<地耐力 100kN/㎡の場合>

サイズ		独立基礎寸法			土間併用基礎		
W	L	DW	DL	DH	DW	DL	DH
18-18	22-57	700	650	500	700	450	500
21-21	22-57	700	650	500	700	450	500
24-24	50-57	800	700	550	800	500	550
25-25	50-57	800	700	550	800	500	550
27-27	50-57	900	700	550	800	500	550
30-30	50-57	1000	700	550	800	500	550

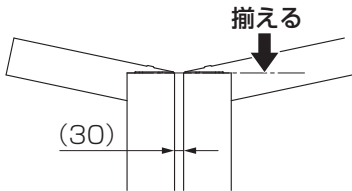
4 Y合掌タイプの施工方法

4-3 合掌部の取付け

1: ブラケットを柱に差込み【7-1】で取付け

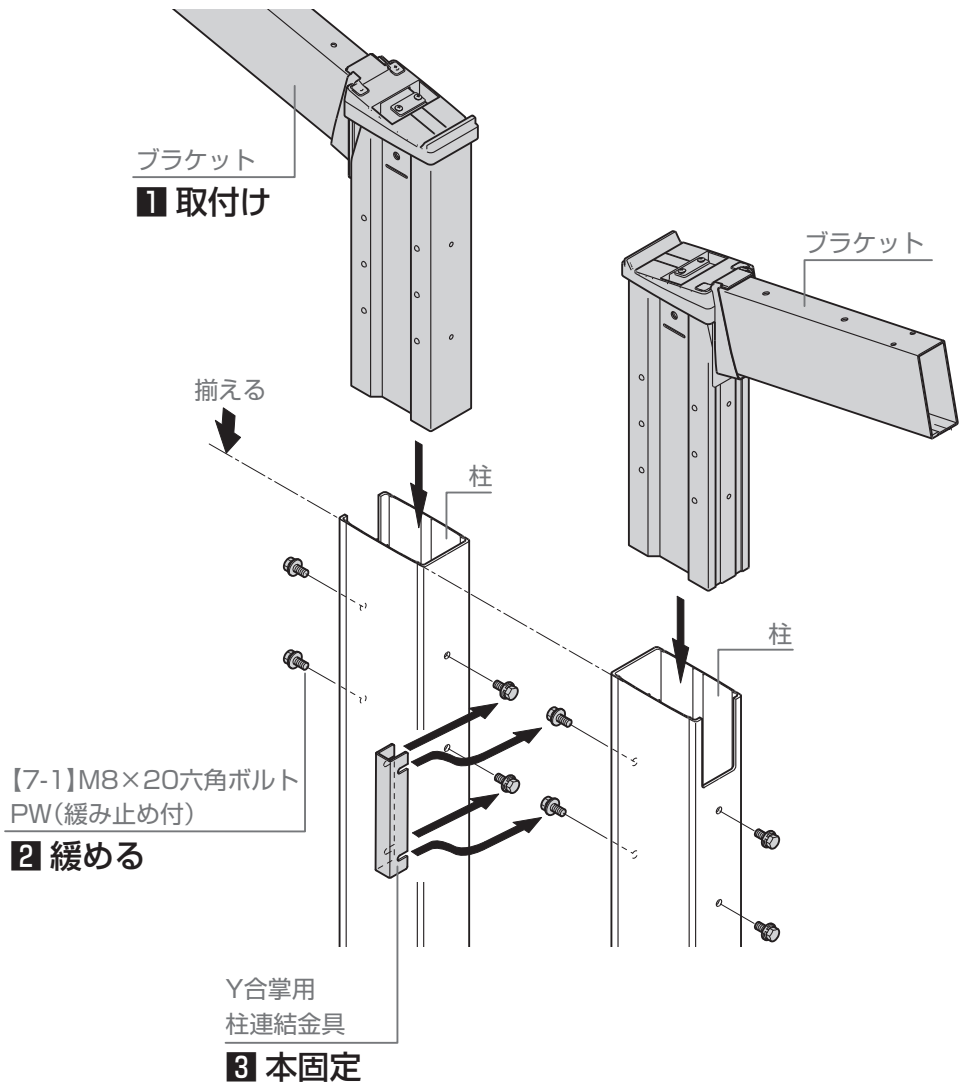
お願い

- 柱と柱のすき間は約30mmにしてください。
- 柱の上面は同一高さにしてください。



2: 合掌面側の【7-1】を軽く緩める

3: Y合掌用柱連結金具を【7-1】のすき間に差込み、本固定

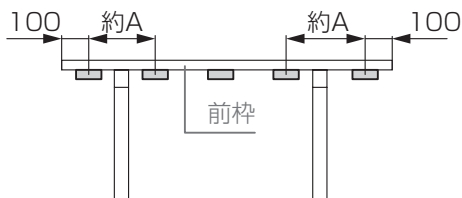


4 Y合掌タイプの施工方法

4-4 合掌棟木の取付け

お願い

- 段差を付けて施工する場合はM・Y合掌棟木を段差寸法分切断してから取付けてください。
- Y合掌固定金具R用は図の位置に取付けてください。
固定金具取付位置に梁がある場合は、ずらして取付けてください。段差を付けて施工する場合はAが均等になるように計算して取付けてください。



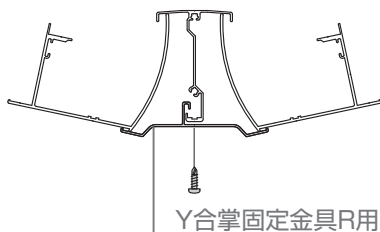
サイズ (奥行)		A	取付個数
ミニ	L22	1030	3
	L29	1380	3
	L36	1150	4
	L43	1390	4
ミニ/1台用	L50	1625	4
	L57	1395	5

1: M・Y合掌棟木を後杵と後杵の間に差込む

2: Y合掌固定金具R用をM・Y合掌棟木に【14-1】で取付け

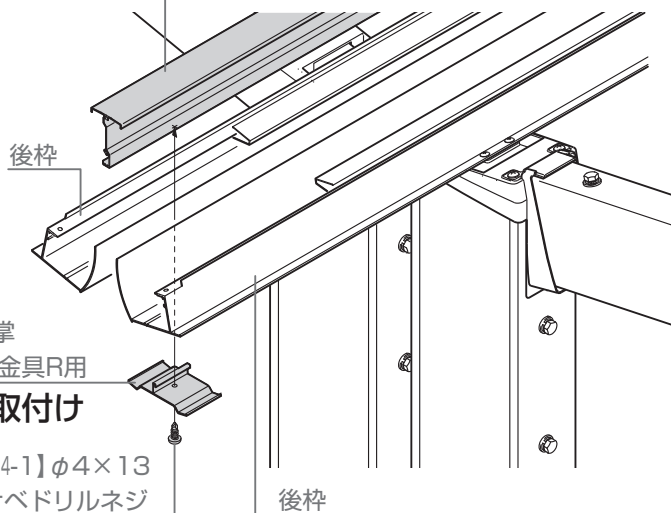
お願い

- Y合掌固定金具R用はM・Y合掌棟木にかん合させて固定してください。



M・Y合掌棟木

1 差込む



Y合掌
固定金具R用

2 取付け

【14-1】φ4×13
ナベドリルネジ

4 Y合掌タイプの施工方法

4-4 合掌棟木の取付け



▼ 縦連棟の場合 ▼



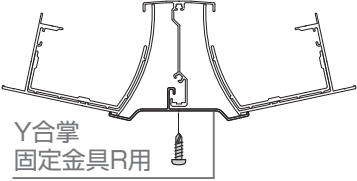
▼ 14延長の場合 ▼

1: 後枠スリーブで後枠同士を連結

2: M・Y合掌棟木を後枠と後枠の間に乗せて、M合掌連棟用固定金具R用を【15-1】で取付け

補足

- M合掌固定金具R用はM・Y合掌棟木にかん合させて固定してください。



Y合掌
固定金具R用

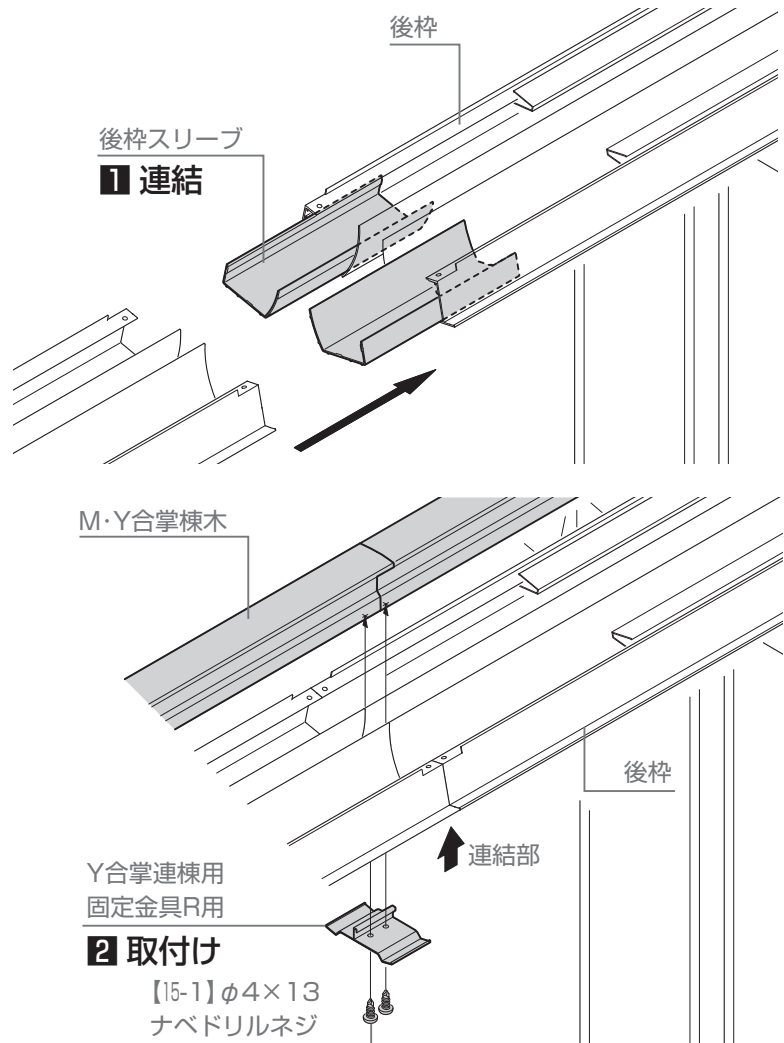
14延長の場合 ▼

- 固定金具は図の位置に取付けてください。

■ : M合掌連棟用固定金具
□ : M合掌固定金具

前枠

L57の場合のみ取付け

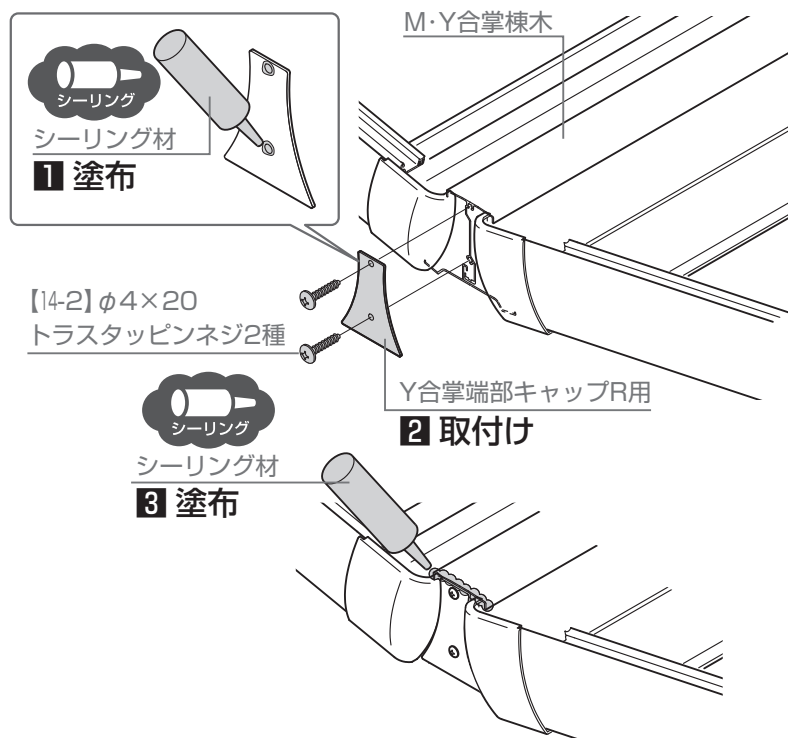


4-5 Y合掌端部キャップの取付け

1: Y合掌端部キャップR用にシーリングを塗布

2: Y合掌端部キャップR用を【14-2】で取付け

3: Y合掌端部キャップR用およびM・Y合掌棟木にシーリングを塗布



4 Y合掌タイプの施工方法

4-6 M・Y合掌連棟カバーの取付け

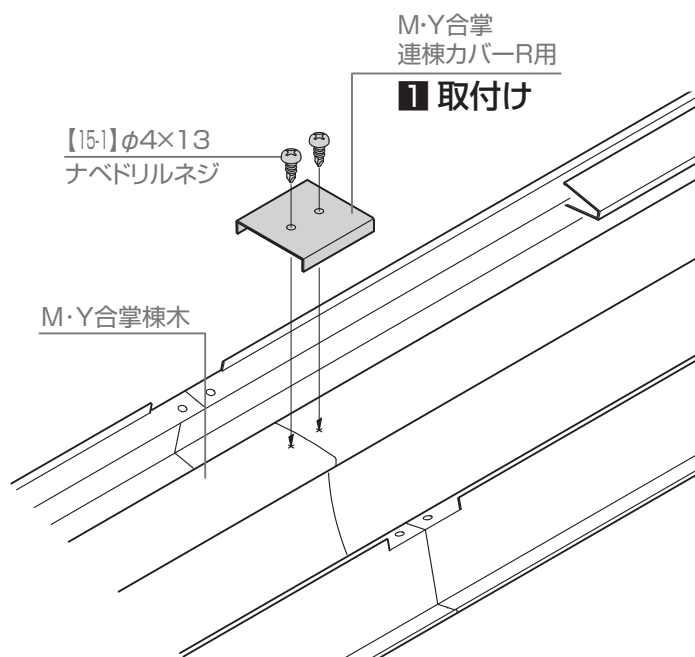


▼ 縦連棟の場合 ▼

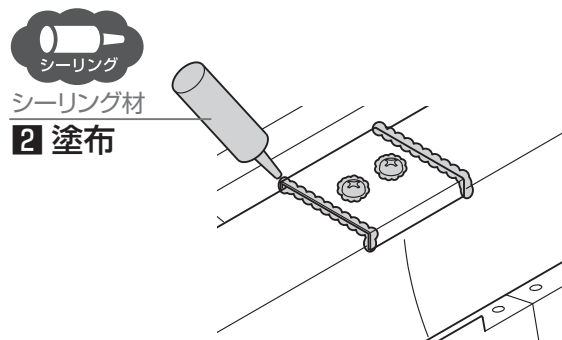


▼ 14延長の場合 ▼

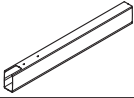
- 1: M・Y合掌連棟カバー R用をM・Y合掌棟木に【15-1】で取付け

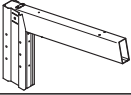



- 2: M・Y合掌連棟カバー R用とネジ頭にシーリングを塗布

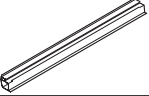
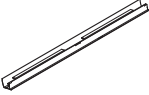
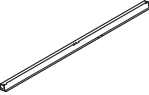
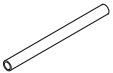



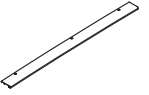
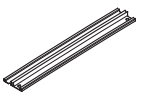
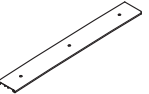
梱包明細表

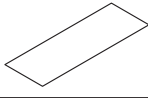
【1】 柱セット			
名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
柱		1	2

【2】 ブラケットセット			
名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
ブラケット		1	2

【3】 梁セット			
名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
梁		1	2








【4】 長さセット							
名 称	略 図	員 数					
		W18~21		W24~27		W30	
		L22-29	L36-43	L14	L50-54-57	L14	L50-54-57
前枠		1	1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	1	1	1
母屋		2	2	3	3	4	4
縦樋φ40 L=3500		-	1	-	1	-	1

【5】 幅セット							
名 称	略 図	員 数					
		2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	7本入
側枠		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
側枠カバー		2	2	2	2	2	2
垂木		2	3	4	5	6	7
垂木カバー		2	3	4	5	6	7

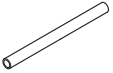
【6】 屋根材セット					
名 称	略 図	員 数			
		1枚入	2枚入	3枚入	4枚入
屋根材		1	2	3	4

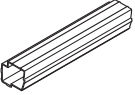
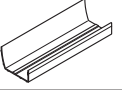
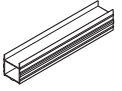

梱包明細表

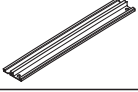

【7】 部品セット		員 数					
名 称	略 図	W18・21		W24~27		W30	
		L22~36	L43~57	L50~57	L14	L50~57	L14
ドレンエルボ		1	1	1	1	1	1
92°エルボ(φ40)		2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1
雨樋パッキン		2	2	2	2	2	2
雨樋穴ふさぎキャップ		1	1	1	1	1	1
パネル緩衝材		16	16	24	8	32	8
接着剤		1	1	1	1	1	1
穴隠しシールφ10		20	30	30	12	36	12
φ8×200 アンカー棒		2	3	3	1	3	1
後枠コーナーキャップL		1	1	1	-	1	-
後枠コーナーキャップR		1	1	1	-	1	-
前枠コーナーキャップL		1	1	1	-	1	-
前枠コーナーキャップR		1	1	1	-	1	-
柱キャップ (W24-27用)		-	-	3	1	-	-
柱キャップ (W30用)		-	-	-	-	3	1
柱キャップ (ミニ)		2	3	-	-	-	-

【7】 部品セット (つづき)		員 数					
名 称	略 図	W18・21		W24~27		W30	
		L22~36	L43~57	L50~57	L14	L50~57	L14
柱梁カバー (W24-27用)		-	-	3	1	-	-
柱梁カバー (W30用)		-	-	-	-	3	1
柱梁カバー (ミニ)		2	3	-	-	-	-
梁キャップ (ミニ)		2	3	-	-	-	-
梁キャップ (1台用)		-	-	3	1	3	1
【7-1】M8×20六角ボルト PW(緩み止め付)		14	21	21	7	21	7
【7-2】φ5×12トラス タッピンネジ3種		148	215	266	70	299	80
【7-3】φ4×13 ナベドリルネジ		3	3	3	3	3	3
取付説明書	-	1	1	1	1	1	1
取付説明書 フーゴR1500 基本延長連棟台掌	-	1	1	1	1	1	1


梱包明細表

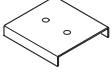
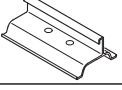

【8】 縦樋セット (オプション)			
名称	略 図	員 数	
		L=1000	L=3100
縦樋 φ40		1	1


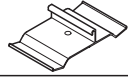
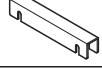


【9】 連棟部材セット (オプション)				
名称	略 図	員 数		
		W18~21	W24~27	W30
前枠スリーブ		1	1	1
後枠スリーブ		1	1	1
母屋スリーブ		2	3	4
【9-1】φ4×13 ナベドリルネジ		35	44	52

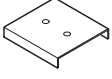
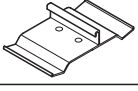

【10】 連棟幅セット (オプション)									
名称	略 図	員 数							
		2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	7本入	8本入	
垂木		2	3	4	5	6	7	8	
垂木カバー		2	3	4	5	6	7	8	


【11】 M合掌部品セット (オプション)					
名称	略 図	員 数			
		L22・29	L36~50	L54・57	L14
M合掌 梁連結金具R用		4	4	4	2
M合掌 端部キャップR用		2	2	2	-
M合掌 固定金具R用		3	4	5	-
梁スペーサー		8	8	8	4
【11-1】M8×100 六角ボルト		8	8	8	4
【11-2】M8 六角セルフロックナット		8	8	8	4
【11-3】 M8用平座金		16	16	16	8
【11-4】φ4×13 ナベドリルネジ		3	4	5	-
【11-5】φ4×20 トラスタッピングネジ2種		4	4	4	-


【12】 MY合掌棟木セット (オプション)		
名称	略 図	員 数
M・Y合掌棟木		1

【13】 M合掌連棟部品セット (オプション)		
名称	略 図	員 数
MY合掌連棟カバーR用		1
M合掌連棟用取付金具R用		1
【13-1】φ4×13 ナベドリルネジ		4



【14】 Y合掌部品セット (オプション)			
名称	略 図	員 数	
		柱連結金具	L22-57
Y合掌 端部キャップR用		-	2
Y合掌 固定金具R用		-	5
Y合掌用 柱連結金具		1	2
【14-1】φ4×13 ナベドリルネジ		-	5
【14-2】φ4×20 トラスタッピングネジ2種		-	4

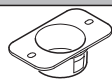

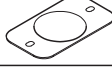

【15】 Y合掌連棟部品セット (オプション)		
名称	略 図	員 数
MY合掌連棟カバーR用		1
Y合掌連棟用取付金具R用		1
【15-1】φ4×13 ナベドリルネジ		4

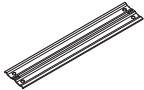

【16】 ドレンエルボセット (オプション)		
名称	略 図	員 数
ドレンエルボ φ40用		1


【17】 エルボセット (オプション)		
名称	略 図	員 数
92°エルボ φ40用		1


梱包明細表

【18】 でんでんセット (オプション)		
名 称	略 図	員 数
でんでん		2
【18-1】φ4×13 ナベドリルネジ		2

【19】 アタッチメントセット (オプション)		
名 称	略 図	員 数
雨樋アタッチメント		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
雨樋パッキン		2
【19-1】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		4

【20】 屋根材ホルダーセット (オプション)							
名 称	略 図	員 数					
		ミニ		レギュラー			共通
		L22	L29	L50	L54	L57	L14
パネル抜け防止材		3	4	7	8	8	2
【20-1】φ5×13 ナベドリルネジ		17	17	26	26	26	9
屋根材ホルダー 取付説明書(D614)	—	1	1	1	1	1	1

【21】 パネル緩衝材セット (オプション)		
名 称	略 図	員 数
パネル緩衝材		8

【22】 補強ネジセット		
名 称	略 図	員 数
【22-1】φ5×13 ナベドリルネジ		25

